

対象校No.

注4

学校コード F127310108116

注3

設置年度 令和 4年度

計画の区分： 学部の設置

注1

届出

注2

近畿大学 情報学部

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書  
(改正後大学設置基準適用)

学校法人近畿大学  
令和7年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名	大学運営本部 情報学部学生センター
職名・氏名	課長代理 <small>ミヤウチ マコ</small> 宮内 麻優子
電話番号	06-4307-3116 (直通)
(夜間)	06-6730-5880 (5133)
e-mail	info-f@itp.kindai.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に

( ) 書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、当該番号を記載してください。

[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/toukei/mext\\_01087.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html)

4 対象校No.については、「【別紙】令和7年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、当該番号を記載してください。

# 目次

## 情報学部

＜情報学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等 . . . . .	3
2. 授業科目の概要 . . . . .	7
3. 施設・設備の整備状況、経費 . . . . .	17
4. 既設大学等の状況 . . . . .	18
5. 教育研究実施組織の状況 . . . . .	21
6. 附帯事項等に対する履行状況等 . . . . .	39
7. その他全般的事項 . . . . .	40

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人近畿大学

## (2) 大学名

近畿大学

## (3) 調査対象大学等の位置

〒577-8502  
大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(セコウ ヒロシゲ) 世耕 弘成 (令和元年9月)		
学長	(ホソイ ヨシヒコ) 細井 美彦 (平成30年4月)	(マツムラ イタル) 松村 到 (令和6年4月)	任期満了により交代 (令和6年4月1日(6))
学部長	(クタラギ ケン) 久多良木 健 (令和4年4月)		
学科長等	—	(ハンダ ヒサシ) 半田 久志 (令和4年4月)	学科長選任のため (令和4年4月1日(4))

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 令和6年度に報告する内容 → (6)

令和7年度に報告する内容 → (7)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。  
 ・様式は、令和2年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和7年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。  
 ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
情報学部 情報学科 学士(工学)	工学関係	4年	330人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	1,320人	-	基礎となる学部等：理工学部情報学科

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1)又は(その2の2))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。  
 ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	人 ( ) [ ]	330人 330 [ ]	人 ( ) [ ]	330人 330 [ ]	人 ( ) [ ]	330人 330 [ ]	人 ( ) [ ]	330人 330 [ ]	人 ( ) [ ]	-			
志願者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	17,155 ( ) [ 29 ]	( ) [ ]	12,672 ( ) [ 10 ]	( ) [ ]	12,886 ( ) [ 13 ]	( ) [ ]	10,985 ( ) [ 6 ]	( ) [ ]	春季入学以外の入学時期と入学定員内訳	1.05倍	一倍	
受験者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	16,438 ( ) [ 21 ]	( ) [ ]	12,198 ( ) [ 8 ]	( ) [ ]	12,356 ( ) [ 8 ]	( ) [ ]	10,486 ( ) [ 5 ]	( ) [ ]	-			
合格者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	1,535 ( ) [ 3 ]	( ) [ ]	1,298 ( ) [ 2 ]	( ) [ ]	1,357 ( ) [ 1 ]	( ) [ ]	1,793 ( ) [ 0 ]	( ) [ ]	-			
B 入学者数	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	( ) [ ]	360 ( ) [ 1 ]	( ) [ ]	323 ( ) [ 1 ]	( ) [ ]	345 ( ) [ 0 ]	( ) [ ]	391 ( ) [ 0 ]	( ) [ ]	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	1.09	-	0.97	-	1.04	-	1.18	-				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)  
 ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。  
 ・( )内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(( ))書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・転入学生は記入しないでください。  
 ・[ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。  
 ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。  
 ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳(予定を含む)を記載してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)  
 ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。  
 ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。  
 ・「(5) -② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次					357 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	331 [ 1 ] ( 19 )	- [ - ] ( - )	355 [ - ] ( 13 )	- [ - ] ( - )	406 [ - ] ( 15 )	- [ - ] ( - )	令和5年度 転学部により2年次から2人減  令和6年度 転学部により2年次に1人増
2 年次							336 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	325 [ - ] ( 10 )	- [ - ] ( - )	351 [ - ] ( 21 )	- [ - ] ( - )	令和7年度 転学部により2年次に1人増 編入学により3年次に1人増
3 年次									320 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	331 [ - ] ( 37 )	- [ - ] ( - )	
4 年次											304 [ 1 ] ( - )	- [ - ] ( - )	
計	[     ] (     )	[     ] (     )	[ 1 ] ( - )	[ 2 ] ( 19 )	357 [ 1 ] ( - )	667 [ 2 ] ( 19 )	1,000 [ 1 ] ( 23 )	1,392 [ 1 ] ( 73 )					

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [     ]内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ (     )内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[ ]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和2年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	357 人	3 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	3 人	0 人	進路変更(2人)、学力不足(1人)
令和5年度	667 人	11 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	4 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、進路変更(2人)
			令和5年度	7 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、進路変更(2人)、心身の事情(1人)、家庭の事情(1名)、除籍(1人)
令和6年度	1,000 人	13 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	6 人	1 人	学力不足(3人)、進路変更(1人)、心身の事情(1人)、家庭の事情(1名)
			令和5年度	4 人	0 人	進路変更(2人)、家庭の事情(1名)、修学意欲の低下(1人)
			令和6年度	3 人	0 人	進路変更(3人)
令和7年度	1,392 人	2 人	令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			令和7年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
合計		29 人		29 人	1 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- 各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(a+b)}} = \frac{-}{\#VALUE!} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(a+b)}} = \frac{3}{360} = \boxed{0.83} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(a+b)}} = \frac{11}{678} = \boxed{1.62} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(a+b)}} = \frac{13}{1,013} = \boxed{1.28} \%$$

【令和7年度】

$$\frac{\text{令和7年度の退学者数(a)}}{\text{令和7年度の在学者数(a+b)}} = \frac{2}{1,394} = \boxed{0.14} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<情報学部>

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
共通授業科目	人間性・社会性科目群	自校学習	1前	1								1
		現代社会と法	1前	2								1
		環境と社会	1前	2								2
		技術と倫理	1後	2			1					2
		教養特殊講義A	1後	2								1
		科学技術の進歩と人権	1後	2								1
		暮らしのなかの憲法	1後	2								1
		住みよい社会と福祉	1後	2								1
		資源とエネルギー	2前	2								1
		心理と行動	2後	2								1
		企業倫理と知的財産	3後	2								1
	小計(11科目)	-	2	19	0	1	1	0	0	0	0	9
	地域性・国際性科目群	国際経済と企業の国際化	1前	2								1
		国際社会と日本	1前	2								1
		ビジネスモデルとマネジメント	1後	2			1					2
教養特殊講義B		1前	2								2	
メディアの読み方		3前	2								1	
小計(5科目)	-	0	10	0	1	0	0	0	0	0	5	
課題設定・問題解決科目群	日本語の技法	1前	2								1	
	基礎ゼミ1	1前	2		11	14	7	1				
	基礎ゼミ2	1後	2		11	14	7	1				
	教養特殊講義C	1後	2								2	
	科学の問題解決法	3前	2								1	
	プレゼンテーション技術	3後	2								1	
小計(6科目)	-	4	8	0	11	14	7	1	0	0	5	
英語・外国語科目群	生進スポーツ1	1前	1								2	
	生進スポーツ2	1後	1								2	
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
第一外国語	英語総合1	1前	2		1	1					4	
	英語総合2	1後	2		1	1					4	
	TOEIC1	2前	1		1	1						
	TOEIC2	2後	1		1	1						
	ライティング1	2前	1		1						4	
	ライティング2	2後	1		1						4	
	アカデミックイングリッシュ1	3前	1			1					4	
	アカデミックイングリッシュ2	3後	1			1					4	
	オーラルイングリッシュ1	1前	1			1					5	
	オーラルイングリッシュ2	1後	1			1					5	
	オーラルイングリッシュ3	2前	1			1					5	
	オーラルイングリッシュ4	2後	1			1					5	
	IT英語1	3前	1			1					1	
	IT英語2	3後	1			1					1	
	海外語学研修(英語)	1-2-3-4	2		1						1	
小計(15科目)	-	8	10	0	1	0	2	0	0	0	9	
ドイツ語	ドイツ語総合1	1前	1								2	
	ドイツ語総合2	1後	1								2	
	ドイツ語総合3	2前	1								1	
	ドイツ語総合4	2後	1								1	
小計(4科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	3	
フランス語	フランス語総合1	1前	1								1	
	フランス語総合2	1後	1								1	
	フランス語総合3	2前	1								1	
	フランス語総合4	2後	1								1	
小計(4科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	
中国語	中国語総合1	1前	1								5	
	中国語総合2	1後	1								5	
	中国語総合3	2前	1								2	
	中国語総合4	2後	1								2	
	海外語学研修(中国語)	1-2-3-4	2		1						1	
小計(5科目)	-	0	6	0	1	0	0	0	0	0	6	
韓国語	韓国語総合1	1前	1								2	
	韓国語総合2	1後	1								2	
	韓国語総合3	2前	1								1	
	韓国語総合4	2後	1								1	
	海外語学研修(韓国語)	1-2-3-4	2		1						1	
小計(5科目)	-	0	6	0	1	0	0	0	0	0	3	
基礎科目	基礎微積分学	1前	2			1					1	
	基礎線形代数学1	1前	2			1					1	
	基礎線形代数学2	1後	2			1					1	
	コンピュータ基礎	1前	2								1	
	確率統計	1後	2			1					1	
	情報処理実習1	1前	1			1					1	
	情報処理実習2	1後	1			1					1	
	基礎物理学および演習	1前	3								1	
	基礎化学および演習	1前	3								1	
	化学	1後	2								2	
	基礎生物学	1前	2								1	
	生物学	1後	2								1	
	情報システム基礎	1前	2		1						1	
	情報システム応用	1後	2		1						1	
小計(14科目)	-	10	14	4	3	2	3	0	0	0	6	
専門科目	学部共通専門科目	プログラミング基礎1	1前	2		4	3	2	3	0	0	6
		プログラミング基礎2	1後	2		3	3					1
		eスポーツ	1前	2		2						1
		IoT	1後	2		1						1
		オブジェクト指向プログラミング	1後	2		1						1
		機械学習概論	1後	2		1						1
		情報学基礎ゼミナール1	2前	2		11	14	7	1			
		情報学基礎ゼミナール2	2後	2		11	14	7	1			
		プログラミング実習1	2前	2		1	5	2				1
		プログラミング実習2	2後	2		2	3	3				1
		データ構造とアルゴリズム	2前	2		1	1					1
	ネットワーク技術	2前	2		1						1	
	離散数学	2前	2								1	
	ITビジネス基礎	2前	2								1	
	Webシステム	2後	2		1						1	
	オブジェクト指向設計	2後	2			1					1	
	ネットワークセキュリティ技術	2後	2								1	
	情報学応用ゼミナール1	3前	2		10	14	7	1				
	情報学応用ゼミナール2	3後	2		10	14	7	1				
	人工知能	3前	2		1						1	
	データベース論	3前	2			1					1	
	情報理論	3前	2			1					1	
	キャリアデザイン	3前	2			1					1	
	データマイニング	3後	2			1					1	
	情報セキュリティ	3後	2		1						1	
	情報と職業	4前	2			1					1	
	社会情報学実習1	4前	1		10	14	7	1				
	社会情報学実習2	2後	1		10	14	7	1				
	社会情報学実習3	3前	1		10	14	7	1				
	社会情報学実習4	3後	1		10	14	7	1				
	卒業研究	4通	8		10	14	7	1				
小計(31科目)	-	38	24	2	11	14	7	1	0	0	2	

【令和7年度】

科目区分	授業科目の名称	当年度	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教	准	講	助	助		
共通授業科目	人間性・社会性科目群	自校学習	1前	1								1
		現代社会と法	1前	2								2
		環境と社会	1前	2								1
		技術と倫理	1後	2			1					1
		教養特殊講義A	1後	2								1
		科学技術の進歩と人権	1後	2								1
		暮らしのなかの憲法	1後	2								1
		住みよい社会と福祉	1後	2								1
		資源とエネルギー	2前	2								1
		心理と行動	2後	2								2
		企業倫理と知的財産	3後	2								1
	小計(11科目)	-	2	19	0	1	1	0	0	0	0	11
	地域性・国際性科目群	国際経済と企業の国際化	1前	2								1
		国際社会と日本	1前	2								2
		ビジネスモデルとマネジメント	1後	2			1					1
教養特殊講義B		1前	2								2	
メディアの読み方		3前	2								1	
小計(5科目)	-	0	10	0	1	0	0	0	0	0	6	
課題設定・問題解決科目群	日本語の技法	1前	2								1	
	近大ゼミ	1前	2								14	
	情報学入門ゼミナール	1後	2								13	
	教養特殊講義C	1後	2								14	
	科学の問題解決法	3前	2								5	
	プレゼンテーション技術	3後	2								5	
小計(6科目)	-	4	12	0	14	13	5	0	0	0	6	
英語・外国語科目群	生進スポーツ1	1前	1								18	
	生進スポーツ2	1後	1								19	
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	19
第一外国語	英語総合1	1前	2		1	1					5	
	英語総合2	1後	2		1	1					5	
	TOEIC1	2前	1		1	1					5	
	TOEIC2	2後	1		1	1					5	
	ライティング1	2前	1		1						4	
	ライティング2	2後	1		1						4	
	アカデミックイングリッシュ1	3前	1			1						

科目区分	授業科目の名称	紀年次	単位数				専任教員等の配置				兼任・兼任		
			必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手			
知能システムコース	多変量解析	2前	2	2	1	1							
	応用数学	2前	2	2	1	1							
	機械学習1	2後	2	2	1	1							
	機械学習2	3後	2	2	1	1							
	実践機械学習	2後	2	2	1	1							
	統計データ解析	2後	2	2	1	1							
	自然言語処理	2後	2	2	1	1							
	数理計画法	2後	2	2	1	1							
	知能システムプロジェクト1	3前	2	2	1	1							
	知能システムプロジェクト2	3後	2	2	1	1							
	メディア処理	3前	2	2	1	1							
	音声言語処理	3前	2	2	1	1							
	コンピュータビジョン	3前	2	2	1	1							
	データモデリング	3後	2	2	1	1							
	HCI	3後	2	2	1	1							
	医療情報学応用	3後	2	2	1	1							
	知的エージェント	3後	2	2	1	1							
小計(17科目)	-	0	34	0	4	8	3	0	0				
サイバーセキュリティコース	OSとコンピュータアーキテクチャ	2前	2	2	1	1							
	暗号と情報セキュリティ	2前	2	2	1	1							
	情報セキュリティ対策と管理1	2後	2	2	1	1							
	情報セキュリティ対策と管理2	3前	2	2	1	1							
	情報数学	2後	2	2	1	1							
	ブロックチェーン	2後	2	2	1	1							
	サイバーセキュリティプロジェクト1	3前	2	2	1	1							
	サイバーセキュリティプロジェクト2	3後	2	2	1	1							
	ソフトウェア工学	3前	2	2	1	1							
	セキュリティ解析技術	3前	2	2	1	1							
	モバイル通信	3前	2	2	1	1							
	サイバー犯罪学	3前	2	2	1	1							
	組み込みシステム	3後	2	2	1	1							
	セキュリティ技術評価と実装技術	3後	2	2	1	1							
	情報と社会	3後	2	2	1	1							
	クラウドコンピューティング	3後	2	2	1	1							
	ネットワーク演習1	3前	2	2	1	1							
ネットワーク演習2	3後	2	2	1	1								
小計(16科目)	-	0	32	4	3	4	3	1	0	2			
実世界コンピューティングコース	コミュニケーション論	2前	2	2	1	1							
	エンターテインメントコンピューティング	2前	2	2	1	1							
	人間中心設計論	2後	2	2	1	1							
	コンピュータグラフィックス	2後	2	2	1	1							
	モデル最適化基礎	2後	2	2	1	1							
	調査データ分析	2後	2	2	1	1							
	実世界コンピューティングプロジェクト1	3前	2	2	1	1							
	実世界コンピューティングプロジェクト2	3後	2	2	1	1							
	アドバンスドWebシステム	3前	2	2	1	1							
	人工現実感	3前	2	2	1	1							
	インタラクション設計	3前	2	2	1	1							
	深層学習	3前	2	2	1	1							
	サービスコンピューティング	3後	2	2	1	1							
	複合システムデザイン	3後	2	2	1	1							
	インタラクティブシステム	3後	2	2	1	1							
	深層強化学習	3後	2	2	1	1							
	社会シミュレーション	3後	2	2	1	1							
小計(17科目)	-	0	34	0	4	6	2	0	0				
合計(154科目)	-	62	207	10	12	14	9	1	0	54			
卒業要件及び履修方法													
<p>全学共通科目の共通教養科目から14単位以上(必修科目6単位)、外国語科目から14単位以上(必修科目8単位)、及び専門科目から96単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。専門科目のうち、必修科目として基礎科目から10単位、各コース必修科目(知能システムコース66単位、サイバーセキュリティコース70単位、実世界コンピューティングコース68単位)を修得すること。加えて知能システムコースのみ選択必修として「自然言語処理」「音声言語処理」「コンピュータビジョン」から2単位を修得すること。学部共通専門科目のうち、知能システムコースでは「離散数学」「情報理論」「データマイニング」「情報セキュリティ」、サイバーセキュリティコースでは「離散数学」「ネットワークセキュリティ技術」「情報理論」、実世界コンピューティングコースでは「ネットワークセキュリティ技術」「情報セキュリティ」をコース必修科目とする。外国語科目における英語科目の選択科目のうち、「オーラルイングリッシュ3・4」から1単位、「アカデミックイングリッシュ1・2」、「IT英語1・2」から1単位、専門科目における学部共通専門科目のうち、「社会情報学実習1・2・3・4」から2単位を選択必修とする。(履修科目の登録の上限:半期24単位、年間48単位)</p>													

科目区分	授業科目の名称	紀年次	主要授業科目	単位数				基幹教員等の配置				兼任・兼任	
				必修	選択	自由	単位	准教授	講師	助教	助手		
知能システムコース	多変量解析	2前	○	2	2	1	1						
	応用数学	2前	○	2	2	1	1						
	機械学習1	2後	○	2	2	1	1						
	機械学習2	3後	○	2	2	1	1						
	実践機械学習	2後	○	2	2	1	1						
	統計データ解析	2後	○	2	2	1	1						
	自然言語処理	2後	○	2	2	1	1						
	数理計画法	2後	○	2	2	1	1						
	知能システムプロジェクト1	3前	○	2	2	1	1						
	知能システムプロジェクト2	3後	○	2	2	1	1						
	メディア処理	3前	○	2	2	1	1						
	音声言語処理	3前	○	2	2	1	1						
	コンピュータビジョン	3前	○	2	2	1	1						
	データモデリング	3前	○	2	2	1	1						
	HCI	3後	○	2	2	1	1						
	医療情報学応用	3後	○	2	2	1	1						
	知的エージェント	3後	○	2	2	1	1						
小計(17科目)	-	0	34	0	4	8	3	0	0				
サイバーセキュリティコース	OSとコンピュータアーキテクチャ	2前	○	2	2	1	1						
	暗号と情報セキュリティ	2前	○	2	2	1	1						
	情報セキュリティ対策と管理1	2後	○	2	2	1	1						
	情報セキュリティ対策と管理2	3前	○	2	2	1	1						
	情報数学	2後	○	2	2	1	1						
	ブロックチェーン	2後	○	2	2	1	1						
	サイバーセキュリティプロジェクト1	3前	○	2	2	1	1						
	サイバーセキュリティプロジェクト2	3後	○	2	2	1	1						
	ソフトウェア工学	3前	○	2	2	1	1						
	セキュリティ解析技術	3前	○	2	2	1	1						
	モバイル通信	3前	○	2	2	1	1						
	サイバー犯罪学	3前	○	2	2	1	1						
	組み込みシステム	3後	○	2	2	1	1						
	セキュリティ技術評価と実装技術	3後	○	2	2	1	1						
	情報と社会	3後	○	2	2	1	1						
	クラウドコンピューティング	3後	○	2	2	1	1						
	ネットワーク演習1	3前	○	2	2	1	1						
ネットワーク演習2	3後	○	2	2	1	1							
小計(16科目)	-	0	32	4	3	4	3	1	0	2			
実世界コンピューティングコース	コミュニケーション論	2前	○	2	2	1	1						
	エンターテインメントコンピューティング	2前	○	2	2	1	1						
	人間中心設計論	2後	○	2	2	1	1						
	コンピュータグラフィックス	2後	○	2	2	1	1						
	モデル最適化基礎	2後	○	2	2	1	1						
	調査データ分析	2後	○	2	2	1	1						
	実世界コンピューティングプロジェクト1	3前	○	2	2	1	1						
	実世界コンピューティングプロジェクト2	3後	○	2	2	1	1						
	アドバンスドWebシステム	3前	○	2	2	1	1						
	人工現実感	3前	○	2	2	1	1						
	インタラクション設計	3前	○	2	2	1	1						
	深層学習	3前	○	2	2	1	1						
	サービスコンピューティング	3後	○	2	2	1	1						
	複合システムデザイン	3後	○	2	2	1	1						
	インタラクティブシステム	3後	○	2	2	1	1						
	深層強化学習	3後	○	2	2	1	1						
	社会シミュレーション	3後	○	2	2	1	1						
小計(17科目)	-	0	34	0	4	6	2	0	0				
合計(166科目)	-	62	211	10	15	14	6	0	0	83			
卒業要件及び履修方法													
<p>全学共通科目の共通教養科目から14単位以上(必修科目6単位)、外国語科目から14単位以上(必修科目8単位)、及び専門科目から96単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。専門科目のうち、必修科目として基礎科目から10単位、各コース必修科目(知能システムコース66単位、サイバーセキュリティコース70単位、実世界コンピューティングコース68単位)を修得すること。加えて知能システムコースのみ選択必修として「自然言語処理」「音声言語処理」「コンピュータビジョン」から2単位を修得すること。学部共通専門科目のうち、知能システムコースでは「離散数学」「情報理論」「データマイニング」「情報セキュリティ」、サイバーセキュリティコースでは「離散数学」「ネットワークセキュリティ技術」「情報理論」、実世界コンピューティングコースでは「ネットワークセキュリティ技術」「情報セキュリティ」をコース必修科目とする。外国語科目における英語科目の選択科目のうち、「オーラルイングリッシュ3・4」から1単位、「アカデミックイングリッシュ1・2」、「IT英語1・2」から1単位、専門科目における学部共通専門科目のうち、「社会情報学実習1・2・3・4」から2単位を選択必修とする。(履修科目の登録の上限:半期24単位、年間48単位)</p>													



科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
知能システムコース	多変量解析	2前	2	2		1	1						
	応用数学	2前	2	2		1							
	機械学習1	2後	2	2		1							
	機械学習2	3後	2	2									
	実践機械学習	2後	2	2		1	1						
	統計データ解析	2後	2	2									
	自然言語処理	2後	2	2		1	1						
	数理計画法	2後	2	2		1							
	知能システムプロジェクト1	3前	2	2		3	2						
	知能システムプロジェクト2	3後	2	2		2	2						
	メディア処理	3前	2	2		1	1						
	音声言語処理	3前	2	2		1							
	コンピュータビジョン	3前	2	2		1	1						
	データマイニング	3前	2	2		1	1						
	HCI	3後	2	2		2	1						
	医療情報学応用	3後	2	2		2	1						
	知的エージェント	3後	2	2					1				
小計(17科目)	-	0	34	0	6	8	1	0	0				
サイバーセキュリティコース	OSとコンピュータアーキテクチャ	2前	2	2		1	1						
	暗号と情報セキュリティ	2前	2	2		1	1						
	情報セキュリティ対策と管理1	2後	2	2		1	1						
	情報セキュリティ対策と管理2	3前	2	2		1	1						
	情報数学	2後	2	2		1							
	ブロックチェーン	2後	2	2								1	
	サイバーセキュリティプロジェクト1	3前	2	2		1	2		1				
	サイバーセキュリティプロジェクト2	3後	2	2		1	1		1				
	ソフトウェア工学	3前	2	2		1	1						
	セキュリティ解析技術	3前	2	2					1				
	モバイル通信	3前	2	2		1							
	サイバー犯罪学	3前	2	2									1
	組み込みシステム	3後	2	2		1							
	セキュリティ技術評価と実装技術	3後	2	2		1	1						
	情報と社会	3後	2	2		1							
	クラウドコンピューティング	3後	2	2									
	ネットワーク演習1	3前	2	2		2	2		1				
ネットワーク演習2	3後	2	2		2	2		1					
小計(18科目)	-	0	32	4	4	4	2	1	0	2			
実世界コンピューティングコース	コミュニケーション論	2前	2	2		1	1						
	エンターテインメントコンピューティング	2前	2	2		1	1						
	人間中心設計論	2後	2	2		1	1						
	コンピュータグラフィックス	2後	2	2		1							
	モデル最適化基礎	2後	2	2		1	1						
	調査データ分析	2後	2	2									
	実世界コンピューティングプロジェクト1	3前	2	2		1	2		1				
	実世界コンピューティングプロジェクト2	3後	2	2		1	2		1				
	アドバンスドWebシステム	3前	2	2		1	1						
	人工現実感	3前	2	2		1	1						
	インタラクション設計	3前	2	2		1	1						
	深層学習	3前	2	2		1	1						
	サービスコンピューティング	3後	2	2		1	1						
	複合システムデザイン	3後	2	2		1	1						
	インタラクティブシステム	3後	2	2		1	1						
	深層強化学習	3後	2	2		1	1						
	社会シミュレーション	3後	2	2					1				
小計(17科目)	-	0	34	0	6	6	1	0	0				
合計(156科目)	-	62	211	10	14	14	6	1	0	2		85	

卒業要件及び履修方法

全学共通科目の共通教養科目から14単位以上(必修科目6単位)、外国語科目から14単位以上(必修科目8単位)、及び専門科目から96単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。専門科目のうち、必修科目として基礎科目から10単位、各コース必修科目(知能システムコース66単位、サイバーセキュリティコース70単位、実世界コンピューティングコース68単位)を修得すること。加えて知能システムコースのみ選択必修として「自然言語処理」「音声言語処理」「コンピュータビジョン」から2単位を修得すること。学部共通専門科目のうち、知能システムコースでは「離散数学」「情報理論」「データマイニング」「情報セキュリティ」、サイバーセキュリティコースでは「離散数学」「ネットワークセキュリティ技術」「情報理論」、実世界コンピューティングコースでは「ネットワークセキュリティ技術」「情報セキュリティ」を必修科目とする。外国語科目における英語科目の選択科目のうち、「オーラルイングリッシュ3・4」から1単位、「アカデミックイングリッシュ1・2」、「IT英語1・2」から1単位、専門科目における学部共通専門科目のうち、「社会情報学実習1・2・3・4」から2単位を選択必修とする。(履修科目の登録の上限:半期24単位、年間46単位)

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置						兼任・ 兼担	
			必修	選択	自由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
知能システムコース	多変量解析	2前	2	2		1	1						
	応用数学	2前	2	2		1							
	機械学習1	2後	2	2		1	1						
	機械学習2	3後	2	2									
	実践機械学習	2後	2	2		1	1						
	統計データ解析	2後	2	2									
	自然言語処理	2後	2	2		1	1						
	数理計画法	2後	2	2		1							
	知能システムプロジェクト1	3前	2	2		2	2						
	知能システムプロジェクト2	3後	2	2		2	2						
	メディア処理	3前	2	2		1	1						
	音声言語処理	3前	2	2		1							
	コンピュータビジョン	3前	2	2		1	1						
	データマイニング	3前	2	2		1	1						
	HCI	3後	2	2		2	1						
	医療情報学応用	3後	2	2		2	1						
	知的エージェント	3後	2	2					1				
小計(17科目)	-	0	34	0	4	8	2	0	0	1			
サイバーセキュリティコース	OSとコンピュータアーキテクチャ	2前	2	2		1	1						
	暗号と情報セキュリティ	2前	2	2		1	1						
	情報セキュリティ対策と管理1	2後	2	2		1	1						
	情報セキュリティ対策と管理2	3前	2	2		1	1						
	情報数学	2後	2	2		1							
	ブロックチェーン	2後	2	2									1
	サイバーセキュリティプロジェクト1	3前	2	2		1	3		1				
	サイバーセキュリティプロジェクト2	3後	2	2		1	1		1				
	ソフトウェア工学	3前	2	2		1	1						
	セキュリティ解析技術	3前	2	2					1				
	モバイル通信	3前	2	2		1							
	サイバー犯罪学	3前	2	2									1
	組み込みシステム	3後	2	2		1							
	セキュリティ技術評価と実装技術	3後	2	2		1	1						
	情報と社会	3後	2	2		1							
	クラウドコンピューティング	3後	2	2									
	ネットワーク演習1	3前	2	2		2	2		1				
ネットワーク演習2	3後	2	2		2	2		1					
小計(18科目)	-	0	32	4	3	5	2	1	0	2			
実世界コンピューティングコース	コミュニケーション論	2前	2	2		1	1						
	エンターテインメントコンピューティング	2前	2	2		1	1						
	人間中心設計論	2後	2	2		1	1						
	コンピュータグラフィックス	2後	2	2		1							
	モデル最適化基礎	2後	2	2		1	1						
	調査データ分析	2後	2	2									
	実世界コンピューティングプロジェクト1	3前	2	2		1	2		1				
	実世界コンピューティングプロジェクト2	3後	2	2		1	2		1				
	アドバンスドWebシステム	3前	2	2		1	1						
	人工現実感	3前	2	2		1	1						
	インタラクション設計	3前	2	2		1	1						
	深層学習	3前	2	2		1	1						
	サービスコンピューティング	3後	2	2		1	1						
	複合システムデザイン	3後	2	2		1	1						
	インタラクティブシステム	3後	2	2		1	1						
	深層強化学習	3後	2	2		1	1						
	社会シミュレーション	3後	2	2					1				
小計(17科目)	-	0	34	0	4	5	2	0	0	1			
合計(156科目)	-	62	211	10	12	15	7	1	0	7		77	

卒業要件及び履修方法

全学共通科目の共通教養科目から14単位以上(必修科目6単位)、外国語科目から14単位以上(必修科目8単位)、及び専門科目から96単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。専門科目のうち、必修科目として基礎科目から10単位、各コース必修科目(知能システムコース66単位、サイバーセキュリティコース70単位、実世界コンピューティングコース68単位)を修得すること。加えて知能システムコースのみ選択必修として「自然言語処理」「音声言語処理」「コンピュータビジョン」から2単位を修得すること。学部共通専門科目のうち、知能システムコースでは「離散数学」「情報理論」「データマイニング」「情報セキュリティ」、サイバーセキュリティコースでは「離散数学」「ネットワークセキュリティ技術」「情報理論」、実世界コンピューティングコースでは「ネットワークセキュリティ技術」「情報セキュリティ」を必修科目とする。外国語科目における英語科目の選択科目のうち、「オーラルイングリッシュ3・4」から1単位、「アカデミックイングリッシュ1・2」、「IT英語1・2」から1単位、専門科目における学部共通専門科目のうち、「社会情報学実習1・2・3・4」から2単位を選択必修とする。(履修科目の登録の上限:半期24単位、年間46単位)

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置				兼任 兼担			
			必修 修	選択 単	自由 単	教 授	准 教 授	講 師	助 教		助 手		
全 学 共 通 科 目	人 間 性 ・ 社 会 性 科 目 群	自校学習	1前	1			1					1	
		現代社会と法	1前	2									1
		環境と社会	1前	2									1
		技術と倫理	1後	2		1							1
		教養特殊講義A	1後	2									1
		科学技術の進歩と人権	1後	2									1
		暮らしのなかの憲法	1後	2									1
		住みよい社会と福祉	1後	2									1
		資源とエネルギー	2前	2									1
		心理と行動	2後	2									1
		企業倫理と知的財産	3後	2									1
	小計(11科目)	-	2	19	0	1	1	0	0	0	0	9	
	地 域 性 科 目 ・ 群 国 際	国際経済と企業の国際化	1前	2									1
		国際社会と日本	1前	2									2
ビジネスモデルとマネジメント		1後	2			1						2	
教養特殊講義B(未開講)		1前	2									2	
メディアの読み方		3前	2									2	
小計(5科目)	-	0	10	0	0	1	0	0	0	0	6		
課 題 設 定 ・ 群 問 題 解 決	日本語の技法	1前	2									1	
	基礎ゼミ1	1前	2		11	15	6	1				1	
	基礎ゼミ2	1後	2		11	15	6	1				2	
	教養特殊講義C	1後	2									1	
	科学的問題解決法	3前	2									1	
	プレゼンテーション技術	3後	2									1	
	データリテラシー入門	1後	2			1						1	
小計(7科目)	-	4	10	0	11	15	6	1	0	0	5		
科 現 ッ ス 目 活 ・ ホ 群 動 表	生涯スポーツ1	1前	1									12	
	生涯スポーツ2	1後	1									10	
	小計(2科目)	-	0	2	0	0	0	0	0	0	0	14	
外 国 語 科 目	第 一 外 国 語 目	英語総合1	1前	2		1		1				5	
		英語総合2	1後	2		1		1				5	
		TOEIC1	2前	1		1		1					
		TOEIC2	2後	1		1		1					
		ライティング1	2前	1		1		1				4	
		ライティング2	2後	1		1		1				4	
		アカデミック英リッシュ1	3前	1				1				4	
		アカデミック英リッシュ2	3後	1				1				4	
		オーラル英リッシュ1	1前	1				1				6	
		オーラル英リッシュ2	1後	1				1				6	
	オーラル英リッシュ3	2前	1				1				5		
	オーラル英リッシュ4	2後	1				1				5		
	IT英語1	3前	1				1				1		
	IT英語2	3後	1				1				1		
	海外語学研修(英語)	1-2-3-4通	2					1				1	
小計(15科目)	-	8	10	0	1	0	2	0	0	0	20		
外 国 語 科 目	第 二 外 国 語 目	ドイツ語総合1	1前	1								1	
		ドイツ語総合2	1後	1								1	
		ドイツ語総合3	2前	1								1	
		ドイツ語総合4	2後	1								1	
	小計(4科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2	
	フ ラ ン ス 語	フランス語総合1	1前	1									1
		フランス語総合2	1後	1									1
		フランス語総合3	2前	1									1
		フランス語総合4	2後	1									1
		小計(4科目)	-	0	4	0	0	0	0	0	0	0	2
	中 国 語	中国語総合1	1前	1									5
		中国語総合2	1後	1									5
		中国語総合3	2前	1									2
		中国語総合4	2後	1									2
		海外語学研修(中国語)	1-2-3-4通	2		1							1
小計(5科目)	-	0	6	0	1	0	0	0	0	0	6		
韓 国 語	韓国語総合1	1前	1									3	
	韓国語総合2	1後	1									3	
	韓国語総合3	2前	1									1	
	韓国語総合4	2後	1									1	
	海外語学研修(韓国語)	1-2-3-4通	2		1							1	
小計(5科目)	-	0	6	0	1	0	0	0	0	0	4		
専 門 科 目	基 礎 科 目	基礎微積分学	1前	2				1					
		基礎線形代数学1	1前	2				1					
		基礎線形代数学2	1後	2				1					
		コンピュータ基礎	1前	2			1						
		確率統計	1後	2			1						
		情報処理実習1	1前	1					1				
		情報処理実習2	1後	1					1				
		基礎物理学および演習	1前	3								1	
		基礎化学および演習	1前	3								1	
		化学	1後	2								2	
		基礎生物学	1前	2								1	
		生物学	1後	2								1	
		情報システム基礎	1前	2		2	1						
		情報システム応用	1後	2		2	1						
	小計(14科目)	-	10	14	4	3	2	3	0	0	0	6	
	学 部 共 通 専 門 科 目	プログラミング基礎1	1前	2			3	2	1	1			
		プログラミング基礎2	1後	2			4	4					
		eスポーツ	1前	2		2						1	
		IoT	1後	2					1				
		オブジェクト指向プログラミング	1後	2									
		機械学習概論	1後	2									
		情報学基礎ゼミナール1	2前	2			11	15	6	1			
		情報学基礎ゼミナール2	2後	2			11	15	6	1			
		プログラミング実習1	2前	2			1	5	2	2			
		プログラミング実習2	2後	2			2	3	3				
		データ構造とアルゴリズム	2前	2				1					
		ネットワーク技術	2前	2				1					
		離散数学	2前	2								1	
ITビジネス基礎		2前	2										
Webシステム	2後	2				1							
オブジェクト指向設計	2後	2						1					
ネットワークセキュリティ技術	2後	2							1				
情報学応用ゼミナール1	3前	2			10	15	6	1					
情報学応用ゼミナール2	3後	2			10	15	6	1					
人工知能	3前	2				1							
データベース論	3前	2					1						
情報理論	3前	2					1						
キャリアデザイン	3後	2					1						
データマイニング	3後	2					1						
情報セキュリティ	3後	2					1						
情報と職業	4前	2											
社会情報学実習1	2前	1			10	15	6	1					
社会情報学実習2	2後	1			10	15	6	1					
社会情報学実習3	3前	1			10	15	6	1					
社会情報学実習4	3後	1			10	15	6	1					
卒業研究	4通	8			10	15	6	1					
小計(31科目)	-	38	24	2	11	15	6	1	0	0	2		

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置				兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教		助手
知能システムコース	多変量解析	2前	2	2	1	1					
	応用数学	2前	2	1	1						
	機械学習1	2後	2	2	1						
	機械学習2	3後	2	2	1						
	実践機械学習	2後	2	2	1						
	統計データ解析	2後	2	2	1						
	自然言語処理	2後	2	2	1						
	数理計画法	2後	2	2	1						
	知能システムプロジェクト1	3前	2	2	2						
	知能システムプロジェクト2	3後	2	2	2						
	メディア処理	3前	2	2	1						
	音声言語処理	3前	2	2	1						
	コンピュータビジョン	3前	2	2	1						
	データモデリング	3後	2	2	1						
	HCI	3後	2	2	1						
	医療情報学応用	3後	2	2	1						
	知的イベント	3後	2	2	1						
小計(17科目)		0	34	0	4	9	2	0	0	0	
サイバーセキュリティコース	OSとコンピュータアーキテクチャ	2前	2	2	1	1					
	暗号と情報セキュリティ	2前	2	2	1						
	情報セキュリティ対策と管理1	2後	2	2	1						
	情報セキュリティ対策と管理2	3前	2	2	1						
	情報数学	2後	2	2	1						
	ブロックチェーン	2後	2	2	1						
	サイバーセキュリティプロジェクト1	3前	2	2	2	1	1				1
	サイバーセキュリティプロジェクト2	3後	2	2	1	1	1				
	ソフトウェア工学	3前	2	2	1						
	セキュリティ解析技術	3前	2	2	1						
	モバイル通信	3前	2	2	1						
	サイバー犯罪学	3前	2	2	1						
	組み込みシステム	3後	2	2	1						
	セキュリティ技術評価と実装技術	3後	2	2	1						
	情報と社会	3後	2	2	1						
	クラウドコンピューティング	3後	2	2	1						
	ネットワーク演習1	3前	2	2	1						
ネットワーク演習2	3後	2	2	1							
小計(18科目)		0	32	4	3	4	3	1	0	2	
実世界コンピューティングコース	コミュニケーション論	2前	2	2	1	1					
	エンターテインメントコンピューティング	2前	2	2	1						
	人間中心設計論	2後	2	2	1						
	コンピュータグラフィックス	2後	2	2	1						
	モバイル最適化基礎	2後	2	2	1						
	病変データ分析	2後	2	2	1						
	実世界コンピューティングプロジェクト1	3前	2	2	1	3					
	実世界コンピューティングプロジェクト2	3後	2	2	1	2	1				
	アドバンスドWebシステム	3前	2	2	1						
	人工現実感	3前	2	2	1						
	インタラクション設計	3前	2	2	1						
	深層学習	3前	2	2	1						
	サービスコンピューティング	3後	2	2	1						
	複合システムデザイン	3後	2	2	1						
	インタラクティブシステム	3後	2	2	1						
	深層強化学習	3後	2	2	1						
	社会シミュレーション	3後	2	2	1						
小計(17科目)		0	34	0	4	6	2	0	0	0	
合計(155科目)		0	62	209	10	12	16	8	1	0	78

卒業要件及び履修方法

全学共通科目の共通教養科目から14単位以上(必修科目6単位)、外国語科目から14単位以上(必修科目8単位)、及び専門科目から96単位以上修得し、合計124単位以上修得すること。専門科目のうち、必修科目として基礎科目から10単位、各コース必修科目(知能システムコース66単位、サイバーセキュリティコース70単位、実世界コンピューティングコース68単位)を修得すること。加えて知能システムコースのみ選択必修として「自然言語処理」「音声言語処理」「コンピュータビジョン」から2単位を修得すること。学部共通専門科目のうち、知能システムコースでは「離散数学」「情報理論」「データマイニング」「情報セキュリティ」、サイバーセキュリティコースでは「離散数学」「ネットワークセキュリティ技術」「情報理論」、実世界コンピューティングコースでは「ネットワークセキュリティ技術」「情報セキュリティ」を必修科目とする。外国語科目における英語科目の選択科目のうち、「オーラルイングリッシュ3・4」から1単位、「アカデミックイングリッシュ1・2」、「IT英語1・2」から1単位、専門科目における学部共通専門科目のうち、「社会情報学実習1・2・3・4」から2単位を選択必修とする。(履修科目の登録の上限:半期24単位、年間48単位)

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
- ・認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
  - ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
  - ・「専任教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
  - ・「専任教員等の配置」欄の「専任教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
  - ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任・兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
  - ・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼任」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」「数」は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)「数」は、認可時又は届出時の「兼任・兼任」数との比較において変更となっている箇所を赤字としてください。(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字の赤字とする必要はありません。)
  - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
  - ・1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
  - ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
  - ・専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
  - ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
  - ・新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
  - (例:記載順)【認可時又は届出時】→【令和7年度(新)】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度(旧)】→【令和7年度(旧)】→【令和6年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和4年度】

- 専任教員の昇格人事(講師から准教授)により、以下の担当授業科目の職位を変更  
「基礎ゼミ1」「基礎ゼミ2」「プログラミング基礎1」「データモデリング」「データベース論」「知能システムプロジェクト」「情報学基礎ゼミナール1」「情報学基礎ゼミナール2」  
「情報学応用ゼミナール1」「情報学応用ゼミナール2」「社会情報学実習1」「社会情報学実習2」「社会情報学実習3」「卒業研究」
- 担当教員の編制の見直しにより、授業科目の専任教員等の配置、兼任・兼任を以下のとおり変更  
「教養特殊講義A」 「兼1」  
「国際社会と日本」 「兼2」  
「生涯スポーツ1」 「兼12」  
「生涯スポーツ2」 「兼10」  
「英語総合1」 「兼5」  
「英語総合2」 「兼5」  
「オンライン英会話1」 「兼6」  
「オンライン英会話2」 「兼6」  
「海外語学研修(英語)」 「講師」  
「ドイツ語総合1」 「兼1」  
「ドイツ語総合2」 「兼1」  
「韓国語総合1」 「兼3」  
「韓国語総合2」 「兼3」  
「プログラミング基礎1」 「教授3」「准教授2」「講師1」「助教1」  
「プログラミング基礎2」 「教授4」「准教授4」  
「スポーツ」 「兼」
- 全学的な取組として、全学共通科目に「データリテラシー入門」を新規追加
- 上記の変更等に伴い、以下の合計を変更  
合計科目数 「155科目」  
単位数(選択) 「209」  
准教授 「15」  
講師 「8」  
兼任・兼任 「兼78」

【令和5年度】

- 専任教員の昇格人事(講師から准教授)により、以下の担当授業科目の職位を変更  
「基礎ゼミ1」「基礎ゼミ2」「IoT」「サイバーセキュリティプロジェクト1」「データベース論」「情報学基礎ゼミナール1」「情報学基礎ゼミナール2」「情報学応用ゼミナール1」「情報学応用ゼミナール2」  
「社会情報学実習1」「社会情報学実習2」「社会情報学実習3」「卒業研究」
- 専任教員(准教授)の退職により、以下の担当授業科目を兼任へ変更  
「情報処理実習2」「英検機械学習」「モデル最適化基礎」「深層強化学習」
- なお、以下の授業科目については専任教員で分担  
「基礎ゼミ1」「基礎ゼミ2」「実世界コンピューティングプロジェクト1」「情報学基礎ゼミナール1」「情報学基礎ゼミナール2」「情報学応用ゼミナール1」「情報学応用ゼミナール2」「社会情報学実習1」  
「社会情報学実習2」「社会情報学実習3」「社会情報学実習4」「卒業研究」
- 時間割全体の調整により全学共通科目の「教養特殊講義A」の配当年次を1年後期から1年前期へ変更
- 担当教員の編制の見直しにより、授業科目の専任教員等の配置、兼任・兼任を以下のとおり変更  
「環境と社会」 「兼2」  
「心理と行動」 「兼2」  
「生涯スポーツ1」 「兼7」  
「生涯スポーツ2」 「兼5」  
「英語総合1」 「兼7」  
「英語総合2」 「兼7」  
「TOEIC1」 「教授1」「講師1」「兼5」  
「TOEIC2」 「教授1」「講師1」「兼5」  
「ライティング1」 「教授1」「講師1」「兼4」  
「ライティング2」 「教授1」「講師1」「兼4」  
「オンライン英会話1」 「兼6」  
「オンライン英会話2」 「兼6」  
「中国語総合1」 「兼1」  
「中国語総合2」 「兼1」
- 全学的な取組として、全学共通科目に「暮らしのなかの起業入門」を新規追加
- 上記の変更等に伴い、以下の合計を変更  
合計科目数 「156科目」  
単位数(選択) 「211」  
講師 「7」  
兼任・兼任 「兼77」

【令和6年度】

- 全学的な取組として、「基礎ゼミ1」「基礎ゼミ2」を「近大ゼミ」「情報学入門ゼミナール」に科目名称変更
- 専任教員の昇格人事(准教授から教授、講師から准教授)により、以下の担当授業科目の職位を変更  
「近大ゼミ」「情報学入門ゼミナール」「プログラミング基礎1」「情報学基礎ゼミナール1」「情報学基礎ゼミナール2」「プログラミング実習1」「プログラミング実習2」「情報学応用ゼミナール1」  
「情報学応用ゼミナール2」「社会情報学実習1」「社会情報学実習2」「社会情報学実習3」「社会情報学実習4」「卒業研究」「機械学習1」「知能システムプロジェクト1」「メディア処理」「コンピュータビジョン」  
「サイバーセキュリティプロジェクト1」「モバイル通信」「組み込みシステム」「ネットワーク演習2」「インタラクティブシステム」
- 担当教員の編制の見直しにより、授業科目の専任教員等の配置、兼任・兼任を以下のとおり変更  
「生涯スポーツ1」 「兼15」  
「生涯スポーツ2」 「兼15」  
「英語総合1」 「兼6」  
「英語総合2」 「兼6」  
「アカデミックライティング1」 「教授1」「兼3」  
「アカデミックライティング2」 「教授1」「兼3」  
「オンライン英会話1」 「兼7」  
「オンライン英会話2」 「兼7」  
「ドイツ語総合1」 「兼2」  
「ドイツ語総合2」 「兼2」  
「中国語総合1」 「兼3」  
「中国語総合2」 「兼3」  
「情報処理実習2」 「助教1」  
「英検機械学習」 「准教授1」  
「モデル最適化基礎」 「准教授1」  
「深層強化学習」 「教授1」
- 上記の変更等に伴い、以下の合計を変更  
教授 「14」  
准教授 「14」  
講師 「6」  
兼任・兼任 「兼85」

【令和7年度】

- 専任教員の昇格人事(准教授から教授、講師から准教授、助教から講師)により、以下の担当授業科目の職位を変更  
「近大ゼミ」「情報学入門ゼミナール」「英語総合1」「英語総合2」「TOEIC1」「TOEIC2」「ライティング1」「ライティング2」「海外語学研修(英語)」  
「情報処理実習2」「プログラミング基礎1」「ネットワークセキュリティ技術」「多変量解析」「知能システムプロジェクト1」「セキュリティ解析技術」  
「サイバーセキュリティプロジェクト1」「サイバーセキュリティプロジェクト2」「キャリアデザイン」「情報学基礎ゼミナール1」「情報学基礎ゼミナール2」  
「情報学応用ゼミナール1」「情報学応用ゼミナール2」「社会情報学実習1」「社会情報学実習2」「社会情報学実習3」「社会情報学実習4」「卒業研究」
- 時間割全体の調整により全学共通科目の「教養特殊講義A」の配当年次を1年後期へ変更(届出時の内容に反る)
- 教育効果に鑑みて「キャリアデザイン」の配当年次を3年前期へ変更
- 担当教員編制の見直し等により以下の追加変更  
「ネットワーク技術」 准教授1 講師1  
「プロクチュアリング」 基幹教員以外の教員1  
「プログラミング基礎1」 基幹教員以外の教員1  
「プログラミング基礎2」 基幹教員以外の教員1  
「プログラミング実習1」 基幹教員以外の教員1  
「プログラミング実習2」 基幹教員以外の教員1  
「教養特殊講義A」 基幹教員以外の教員1  
「生涯スポーツ1」 基幹教員以外の教員18  
「生涯スポーツ2」 基幹教員以外の教員16  
「基礎化学および演習」 基幹教員以外の教員1  
「英語総合1」 基幹教員以外の教員5  
「英語総合2」 基幹教員以外の教員5  
「中国語総合1」 基幹教員以外の教員2  
「中国語総合2」 基幹教員以外の教員2  
「韓国語総合1」 基幹教員以外の教員1  
「韓国語総合2」 基幹教員以外の教員1
- 上記の変更等に伴い、以下の合計を変更  
教授 「15」  
准教授 「14」  
講師 「6」  
助教 「0」  
基幹教員以外の教員 「83」

- (注) 2 (1) ① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目の変更、新規科目の追加など)を簡易書きで記入してください。  
変更がない年度は「特になし」と記入してください。
- 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準(令和4年10月1日施行)の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合(例:「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更)や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合(例:「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更)については、記入しないでください。
  - 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。
  - 指定規則の改正により、新旧が並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
30 科目	119 科目	5 科目	154 科目	30 科目 [ - ]	121 科目 [ 2 ]	5 科目 [ - ]	156 科目 [ 2 ]	

- (注)・未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{154} = \boxed{0}\%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	近畿大学短期大学部・近 畿大学短期大学部通信教 育部（必要面積1,600 ㎡）と共用。 土地売却による面積の変 更（4） 土地購入のため（5）		
	校 舎 敷 地	630,438㎡ <del>597,646㎡</del>	146,434㎡	0㎡	776,872㎡ <del>744,080㎡</del>			
	そ の 他	1,760,279㎡ <del>1,806,418㎡</del>	0㎡	0㎡	1,760,279㎡ <del>1,806,418㎡</del>			
	合 計	2,390,717㎡ <del>2,404,064㎡</del>	146,434㎡	0㎡	2,537,151㎡ <del>2,550,498㎡</del>			
(2) 校 舎	専 用	343,099㎡ <del>344,014㎡</del> <del>324,012㎡</del>	76,974㎡ <del>95,308㎡</del>	1,900㎡	421,973㎡ <del>422,888㎡</del> <del>421,220㎡</del>	近畿大学短期大学部・近 畿大学短期大学部通信教 育部（必要面積5,500 ㎡）と共用。 新棟竣工による変更 （4） 建物解体撤去のため （5） 改修工事及び医学部の移 転計画時期が変更となっ たため（7）		
	(343,099㎡) <del>(343,031㎡)</del> <del>(332,640㎡)</del>	(76,974㎡) <del>(95,308㎡)</del>	(1,900㎡)	(421,973㎡) <del>(421,905㎡)</del> <del>(440,239㎡)</del> <del>(429,848㎡)</del>				
(3) 教室・教員研究室	教 室		1,332室	教員研究室	35室	大学全体（教室）		
(4) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書		学術雑誌		機 械 ・ 器 具	標 本	
		〔うち外国書〕	電子図書	〔うち外国書〕	電子ジャーナル			
	情報学部	冊	〔うち外国書〕	種	〔うち外国書〕	点	625 <del>626</del> 610 584 513	
		2,180,616 (771,215) <del>2,175,837 (772,470)</del> 2,184,068 (776,064) <del>2,396,382 (847,246)</del> 2,396,678 (872,059)	20,751 (10,422)	132,512 (102,075) <del>112,828 (84,000)</del> 117,696 (88,223) <del>117,477 (88,390)</del> 21,713 (10,788)	112,910 (92,737) <del>93,202 (74,665)</del> 98,028 (78,698) <del>96,201 (77,694)</del> 92,308 (75,444)	58,457 <del>59,834</del> 60,097 54,156 39,590		
計	(2,174,599 (771,050)) <del>(2,162,924 (772,202))</del> <del>(2,168,567 (776,489))</del> <del>(2,260,524 (846,234))</del> <del>(2,339,329 (860,581))</del>	(20,751 (10,422))	(131,799 (101,375)) <del>(111,420 (82,600))</del> <del>(115,316 (85,947))</del> <del>(114,305 (85,237))</del> <del>(21,701 (10,788))</del>	(112,219 (92,038)) <del>(91,803 (73,267))</del> <del>(95,655 (76,265))</del> <del>(93,051 (74,445))</del> <del>(88,719 (71,860))</del>	(55,337) <del>(57,940)</del> <del>(54,770)</del> <del>(48,489)</del>	(613) <del>(626)</del> <del>(600)</del> <del>(580)</del>		
(5) スポーツ施設等	スポーツ施設		講堂		厚生補導施設			
		12,539㎡		14,121㎡		28,607㎡		
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	1,026千円 2,792千円	2,051千円 <del>1,274千円</del> 1,499千円 1,422千円 2,792千円	図書購入費	34,914千円 36,215千円 41,910千円	33,915千円 3,605千円 41,910千円	34,562千円 <del>17,572千円</del> 14,777千円 9,474千円 41,910千円
	共同研究費等	2,129千円 2,013千円	2,216千円 <del>1,094千円</del> 1,030千円 2,129千円 2,013千円	設備購入費	279,443千円 162,360千円	6,774千円 162,360千円	101,116千円 <del>126,641千円</del> 26,939千円 0千円 162,360千円	
	学生1人当り納付金	第1年次 1,712千円	第2年次 1,492千円	第3年次 1,522千円	第4年次 1,552千円	第5年次 -千円	第6年次 -千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料、寄付金、補助金、資産運用事業収入等で維持する。						

- (注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）又は（その1の3）に準じて作成してください。  
 （複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「（1）校地等」及び  
 「（2）校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。）
- ・「（4）図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「（6）」を「備考」に赤字で記入してください。  
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・校舎等建物の計画の変更（校舎の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・高等専門学校については「（3）教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。
  - ・国立大学については「（6）経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	近畿大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
法学部	4	500	-	2,000	-	1.09	1.04	-	-	大阪府東大阪市新上小阪228番3号				
法律学科	4	500	-	2,000	学士(法学)	1.09	1.04	-	昭和25	同上				
経済学部	4	760	-	3,040	-	1.07	1.03	-	-	大阪府東大阪市新上小阪228番3号				
経済学科	4	420	-	1,680	学士(経済学)	1.06	1.03	-	平成15	同上				
総合経済政策学科	4	170	-	680	学士(経済政策学)	1.09	1.04	-	平成15	同上				
国際経済学科	4	170	-	680	学士(国際経済学)	1.08	1.03	-	平成18	同上				
経営学部	4	1,340	-	5,360	-	1.10	1.06	-	-	大阪府東大阪市小坂江3丁目4番1号				
経営学科	4	585	-	2,340	-	1.11	1.08	-	-	同上				
昼間主コース	4	425	-	1,700	学士(経営学)	1.18	1.14	-	平成15	同上				
夜間主コース	4	160	-	640	学士(経営学)	0.93	0.92	-	平成15	同上				
商学科	4	405	-	1,620	学士(商学)	1.09	1.06	-	平成15	同上				
会計学科	4	175	-	700	学士(会計学)	1.11	1.07	-	平成18	同上				
キャリア・マネジメント学科	4	175	-	700	学士(キャリア・マネジメント学)	1.03	1.01	-	平成19	同上				
理工学部	4	1,040	-	4,160	-	1.06	1.01	-	-	大阪府東大阪市小坂江3丁目4番1号				
理学科	4	225	-	900	学士(理学)	1.11	1.03	-	平成14	同上				
生命科学科	4	95	-	380	学士(理学)	1.07	1.02	-	平成14	同上				
応用化学科	4	130	-	520	学士(工学)	1.07	1.04	-	平成14	同上				
機械工学科	4	200	-	800	学士(工学)	1.04	1.00	-	平成14	同上				
電気電子通信工学科	4	170	-	680	学士(工学)	1.15	1.08	-	平成14	同上	令和4年度から入学定員変更(190→170)			
社会環境工学科	4	100	-	400	学士(工学)	0.95	0.92	-	平成14	同上				
情報学科	4	-	-	-	学士(工学)	-	-	-	平成14	同上	令和4年度入学生より学生募集停止			
エネルギー物質学科	4	120	-	480	学士(理工学)	0.96	-	令和4	令和4	同上				
建築学部	4	280	-	1,120	-	1.09	1.06	-	-	大阪府東大阪市小坂江3丁目4番1号				
建築学科	4	280	-	1,120	学士(建築学)	1.09	1.06	-	平成23	同上				
薬学部	-	190	-	1,060	-	1.04	1.00	-	-	大阪府東大阪市小坂江3丁目4番1号				
医療薬学科	6	150	-	900	学士(薬学)	1.03	1.00	-	平成18	同上				
創薬科学科	4	40	-	160	学士(薬科学)	1.08	1.00	-	平成18	同上				
文芸学部	4	515	-	2,060	-	1.09	1.06	-	-	大阪府東大阪市新上小阪228番3号				
文学科	4	180	-	720	-	1.15	1.10	-	-	同上				
日本文学専攻	4	120	-	480	学士(文学)	1.13	1.07	-	平成元	同上				
英語英米文学専攻	4	60	-	240	学士(文学)	1.17	1.15	-	平成元	同上				
芸術学科	4	115	-	460	-	1.04	1.01	-	-	同上				

大学の名称	近畿大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
舞台芸術専攻	4	50	-	200	学士(文芸学)	1.06	1.05	-	平成元	同上				
造形芸術専攻	4	65	-	260	学士(文芸学)	1.03	0.98	-	平成元	同上				
文化・歴史学科	4	140	-	560	学士(文学)	1.05	1.02	-	平成元	同上				
文化デザイン学科	4	80	-	320	学士(文芸学)	1.13	1.10	-	平成28	同上				
総合社会学部	4	510	-	2,040	-	1.08	1.04	-	-	大阪府東大阪市新上小阪228番3号				
総合社会学科	4	510	-	2,040	学士(総合社会学)	1.08	1.04	-	平成22	同上				
国際学部	4	500	-	2,000	-	1.08	1.04	-	-	大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号				
国際学科	4	500	-	2,000	学士(国際学)	1.08	1.04	-	平成28	同上				
情報学部	4	330	-	1,320	-	1.05	-	-	-	大阪府東大阪市新上小阪228番3号				
情報学科	4	330	-	1,320	学士(工学)	1.05	-	令和4	令和4	同上				
農学部	4	680	-	2,720	-	1.07	1.04	-	-	奈良県奈良市中町3327番204				
農業生産科学科	4	120	-	480	学士(農学)	1.05	1.02	-	平成17	同上				
水産学科	4	120	-	480	学士(農学)	1.12	1.10	-	昭和33	同上				
応用生命化学科	4	120	-	480	学士(農学)	1.04	1.02	-	平成17	同上				
食品栄養学科	4	80	-	320	学士(農学)	1.04	1.02	-	昭和42	同上				
環境管理学科	4	120	-	480	学士(農学)	1.12	1.08	-	平成17	同上				
生物機能科学科	4	120	-	480	学士(農学)	1.03	1.01	-	平成17	同上				
医学部	6	108	-	663	-	1.04	0.99	-	-	大阪府大阪狭山市大野東377番2	令和2年度のみ臨時定員変更(95→107)			
医学科	6	108	-	663	学士(医学)	1.04	0.99	令和7	昭和49	同上	令和3年度のみ臨時定員変更(95→112) 令和4～6年度のみ臨時定員変更(95→112) 令和7年度のみ臨時定員変更(95→108)			
生物理工学部	4	485	-	1,940	-	1.02	0.98	-	-	和歌山県紀の川市西三谷930				
生物工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.09	1.04	-	平成5	同上				
食品安全工学科	4	90	-	360	学士(工学)	0.97	0.93	-	平成22	同上				
遺伝子工学科	4	90	-	360	学士(工学)	1.02	1.00	-	平成9	同上				
生命情報工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.04	0.99	-	平成22	同上				
人間環境デザイン工学科	4	80	-	320	学士(工学)	1.01	0.99	-	平成22	同上				
医用工学科	4	55	-	220	学士(工学)	1.01	0.95	-	平成22	同上				
工学部	4	545	-	2,180	-	1.05	1.02	-	-	広島県東広島市高屋うめの辺1番				
化学生命工学科	4	75	-	310	学士(工学)	1.02	1.00	-	昭和34	同上	令和5年度から入学定員変更(85→75)			
機械工学科	4	100	-	400	学士(工学)	1.03	1.01	-	昭和34	同上				
情報学科	4	100	-	390	学士(工学)	1.10	1.06	-	昭和37	同上	令和5年度から入学定員変更(90→100)			
建築学科	4	100	-	400	学士(工学)	1.07	1.05	-	昭和40	同上				
電子情報工学科	4	95	-	375	学士(工学)	1.07	1.03	-	平成4	同上	令和5年度から入学定員変更(90→95)			

大学の名称		近畿大学										収容定員充足率の7割以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	3
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
ロボティクス学科	4	75	-	305	学士(工学)	1.01	0.98	-	平成4	同上	令和5年度から入学定員変更(80→75)				
産業理工学部	4	420	-	1,680	-	1.05	1.02	-	-	福岡県飯塚市の森11番6					
生物環境化学科	4	65	-	270	学士(工学)	1.11	1.10	-	平成16	同上	令和5年度から入学定員変更(75→65)				
電気電子工学科	4	65	-	260	学士(工学)	1.02	0.96	-	平成16	同上					
建築・デザイン学科	4	95	-	375	学士(工学)	0.99	0.97	-	平成16	同上	令和5年度から入学定員変更(90→95)				
情報学科	4	75	-	295	学士(工学)	1.11	1.08	-	平成16	同上	令和5年度から入学定員変更(70→75)				
経営ビジネス学科	4	120	-	480	学士(経営ビジネス学)	1.04	1.00	-	平成16	同上					
通信教育課程															
法学部	4	2,000	-	8,000	-	0.22	-	-	-	大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号					
法律学科	4	2,000	-	8,000	学士(法学)	0.22	-	-	昭和35	同上					
通信教育課程															
建築学部	4	100	3年次500	600	-	1.80	-	-	-	大阪府東大阪市小若江3丁目4番1号					
建築学科	4	100	3年次500	600	学士(建築学)	1.80	-	令和7	令和7	同上	1・3年次同時開設				
大学全体	-	10,303	3年次500	41,943	-	-	-	-	-	-					

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)

なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。

・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。

・学部/学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。

※「入学定員を定めている組織」ごとは、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。

履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

・本年度A.Cの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。

・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。

開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。

算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和8年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。

・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」

第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。

なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。

また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。

・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。

詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

<情報学部>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名	職名	担当授業科目名
専 教授 (伊原)	久多良木 健 (令和4年4月) 工学士	久多良木 健 (令和4年4月) 工学士	久多良木 健 (令和4年4月) 工学士	久多良木 健 (令和4年4月) 工学士	久多良木 健 (令和4年4月) 工学士	専 教授 (伊原)	久多良木 健 (令和4年4月) 工学士	専 教授 (伊原)	久多良木 健 (令和4年4月) 工学士
専 教授	田川 聖治 (令和4年4月) 博士(工学)	田川 聖治 (令和4年4月) 博士(工学)	田川 聖治 (令和4年4月) 博士(工学)	田川 聖治 (令和4年4月) 博士(工学)	田川 聖治 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	田川 聖治 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	田川 聖治 (令和4年4月) 博士(工学)
専 教授	井口 信和 (令和4年4月) 博士(工学)	井口 信和 (令和4年4月) 博士(工学)	井口 信和 (令和4年4月) 博士(工学)	井口 信和 (令和4年4月) 博士(工学)	井口 信和 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	井口 信和 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	井口 信和 (令和4年4月) 博士(工学)
専 教授	佐野 到 (令和4年4月) 博士(工学)	佐野 到 (令和4年4月) 博士(工学)	佐野 到 (令和4年4月) 博士(工学)	佐野 到 (令和4年4月) 博士(工学)	佐野 到 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	佐野 到 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	佐野 到 (令和4年4月) 博士(工学)
専 教授	樋口 昌宏 (令和4年4月) 博士(工学)	樋口 昌宏 (令和4年4月) 博士(工学)	樋口 昌宏 (令和4年4月) 博士(工学)	樋口 昌宏 (令和4年4月) 博士(工学)	樋口 昌宏 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	樋口 昌宏 (令和4年4月) 博士(工学)	専 教授	樋口 昌宏 (令和4年4月) 博士(工学)
専 教授	半田 久志 (令和4年4月) 博士(情報学)	半田 久志 (令和4年4月) 博士(情報学)	半田 久志 (令和4年4月) 博士(情報学)	半田 久志 (令和4年4月) 博士(情報学)	半田 久志 (令和4年4月) 博士(情報学)	専 教授	半田 久志 (令和4年4月) 博士(情報学)	専 教授	半田 久志 (令和4年4月) 博士(情報学)
専 教授	木村 裕一 (令和4年4月) 工学博士、博士(医学)	木村 裕一 (令和4年4月) 工学博士、博士(医学)	木村 裕一 (令和4年4月) 工学博士、博士(医学)	木村 裕一 (令和4年4月) 工学博士、博士(医学)	木村 裕一 (令和4年4月) 工学博士、博士(医学)	専 教授	木村 裕一 (令和4年4月) 工学博士、博士(医学)	専 教授	木村 裕一 (令和4年4月) 工学博士、博士(医学)
専 教授	三原 京 (令和4年4月) 修士(文学)	三原 京 (令和4年4月) 修士(文学)	三原 京 (令和4年4月) 修士(文学)	三原 京 (令和4年4月) 修士(文学)	三原 京 (令和4年4月) 修士(文学)	専 教授	三原 京 (令和4年4月) 修士(文学)	専 教授	三原 京 (令和4年4月) 修士(文学)



【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

Table with columns: 専任・兼任・兼任の別, 職名, 氏名, 担当授業科目名. Rows include 波部 斉, 多田 昌裕, 谷口 義明, 白浜 公章, 角田 雅照, 越智 洋司, 守屋 宣, 篠崎 隆志.

Table with columns: 専任・兼任・兼任の別, 職名, 氏名, 担当授業科目名. Rows include 波部 斉, 多田 昌裕, 谷口 義明, 白浜 公章, 角田 雅照, 越智 洋司, 守屋 宣, 篠崎 隆志.

Table with columns: 専任・兼任・兼任の別, 職名, 氏名, 担当授業科目名. Rows include 波部 斉, 多田 昌裕, 谷口 義明, 白浜 公章, 角田 雅照, 越智 洋司, 守屋 宣, 篠崎 隆志.

Table with columns: 専任・兼任・兼任の別, 職名, 氏名, 担当授業科目名. Rows include 波部 斉, 多田 昌裕, 谷口 義明, 白浜 公章, 角田 雅照, 越智 洋司, 守屋 宣, 篠崎 隆志.

Table with columns: 教員区分, 職名, 氏名, 担当授業科目名. Rows include 波部 斉, 多田 昌裕, 谷口 義明, 白浜 公章, 角田 雅照, 越智 洋司, 守屋 宣, 篠崎 隆志.

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

Table with columns for position (主任・兼任・主任), name, title, and subject. Includes staff like 杉山 治, 柏嶋 礼生, 石水 隆, 広永 美善也, 演砂 幸裕, 福田 洋治, 大谷 雅之, 水谷 后宏.

Table with columns for position (主任・兼任・主任), name, title, and subject. Includes staff like 杉山 治, 柏嶋 礼生, 石水 隆, 広永 美善也, 演砂 幸裕, 福田 洋治, 大谷 雅之, 水谷 后宏.

Table with columns for position (主任・兼任・主任), name, title, and subject. Includes staff like 杉山 治, 柏嶋 礼生, 石水 隆, 広永 美善也, 演砂 幸裕, 福田 洋治, 大谷 雅之, 水谷 后宏.

Table with columns for position (主任・兼任・主任), name, title, and subject. Includes staff like 杉山 治, 柏嶋 礼生, 石水 隆, 広永 美善也, 演砂 幸裕, 福田 洋治, 大谷 雅之, 水谷 后宏.

Table with columns for position (教員区分), name, title, and subject. Includes staff like 杉山 治, 柏嶋 礼生, 石水 隆, 広永 美善也, 演砂 幸裕, 福田 洋治, 大谷 雅之, 水谷 后宏.

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

Table with columns for position, name, age, and subject. Includes entries for 山元 翔, 中川 浩, Mark Donnellan, 吉原 和明, 小橋 馨, 山崎 重一郎, 布施 匡章, 筋 伊知朗, 井田 民男, 石井 隆之, and 安藤 尚一.

Table with columns for position, name, age, and subject. Includes entries for 山元 翔, 中川 浩, Mark Donnellan, 吉原 和明, 小橋 馨, 山崎 重一郎, 布施 匡章, 筋 伊知朗, 井田 民男, 石井 隆之, and 安藤 尚一.

Table with columns for position, name, age, and subject. Includes entries for 山元 翔, 中川 浩, Mark Donnellan, 吉原 和明, 小橋 馨, 山崎 重一郎, 布施 匡章, 筋 伊知朗, 井田 民男, 石井 隆之, 水野 諭, and 安藤 尚一.

Table with columns for position, name, age, and subject. Includes entries for 山元 翔, 中川 浩, Mark Donnellan, 吉原 和明, 小橋 馨, 山崎 重一郎, 布施 匡章, 筋 伊知朗, 井田 民男, 石井 隆之, 水野 諭, and 高谷 和歌子.

Table with columns for position, name, age, and subject. Includes entries for 山元 翔, 中川 浩, Mark Donnellan, 吉原 和明, 小橋 馨, 山崎 重一郎, 布施 匡章, 筋 伊知朗, 井田 民男, 石井 隆之, 水野 諭, and 高谷 和歌子.



【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	教授	平井 大輔 (令和4年4月) 博士(英語学)
		教養特殊講義B
兼任	教授	松村 博史 (令和5年4月) 文学修士
		フランス語総合3 フランス語総合4
兼任	教授	陸 宗均 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		韓国語総合1 韓国語総合2
兼任	准教授	橋本 啓子 (令和4年4月) 博士(学術)
		教養特殊講義A
兼任	准教授	辺 成祐 (令和4年4月) 修士(経済学)
		国際経済と企業の国際化
兼任	准教授	森山 智浩 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		教養特殊講義B
兼任	准教授	芳原 新也 (令和6年4月) 博士(工学)
		科学的問題解決法
兼任	准教授	河野 英二 (令和4年4月) 博士(文学)
		ドイツ語総合1 ドイツ語総合2
兼任	准教授	有馬 麻理亜 (令和4年4月) 博士(文学)
		フランス語総合1 フランス語総合2
兼任	准教授	幸福 香織 (令和4年4月) 文学修士
		中国語総合1 中国語総合2 中国語総合3 中国語総合4

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	教授	平井 大輔 (令和4年4月) 博士(英語学)
		教養特殊講義B
兼任	教授	松村 博史 (令和5年4月) 文学修士
		フランス語総合3 フランス語総合4
兼任	教授	陸 宗均 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		韓国語総合1 韓国語総合2
兼任	准教授	村中 洋介 (令和4年4月) 博士(法学)
		現代社会と法
兼任	准教授	辺 成祐 (令和4年4月) 修士(経済学)
		国際経済と企業の国際化
兼任	准教授	森山 智浩 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		教養特殊講義B
兼任	准教授	芳原 新也 (令和6年4月) 博士(工学)
		科学的問題解決法
兼任	准教授	河野 英二 (令和4年4月) 博士(文学)
		ドイツ語総合1 ドイツ語総合2
兼任	准教授	幸福 香織 (令和4年4月) 文学修士
		中国語総合1 中国語総合2 中国語総合3 中国語総合4
兼任	准教授	飯塚 碧穂 (令和4年4月) 修士(商学)
		中国語総合1 中国語総合2

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	教授	平井 大輔 (令和4年4月) 博士(英語学)
		教養特殊講義B
兼任	教授	陸 宗均 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		韓国語総合1 韓国語総合2
兼任	准教授	村中 洋介 (令和4年4月) 博士(法学)
		現代社会と法
兼任	教授	渡辺 泰明 (令和5年4月) 博士(経営学)
		国際経済と企業の国際化
兼任	准教授	森山 智浩 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		教養特殊講義B
兼任	准教授	芳原 新也 (令和6年4月) 博士(工学)
		科学的問題解決法
兼任	教授	文能 麗之 (令和5年4月) 博士(国際公共政策)
		暮らしのなかの国際入門
兼任	准教授	河野 英二 (令和4年4月) 博士(文学)
		ドイツ語総合1 ドイツ語総合2
兼任	教授	黒沢 宏知 (令和5年4月) Dr. phil. (独)
		ドイツ語総合3 ドイツ語総合4
兼任	准教授	幸福 香織 (令和4年4月) 文学修士
		中国語総合1 中国語総合2
兼任	准教授	飯塚 碧穂 (令和4年4月) 修士(商学)
		中国語総合1 中国語総合2

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
兼任	講師	時本 昌樹 (令和6年4月) 修士(学術)
		生体スポーツ1 生体スポーツ2
兼任	教授	平井 大輔 (令和4年4月) 博士(英語学)
		教養特殊講義B
兼任	准教授	村中 洋介 (令和4年4月) 博士(法学)
		現代社会と法
兼任	教授	渡辺 泰明 (令和5年4月) 博士(経営学)
		国際経済と企業の国際化
兼任	准教授	森山 智浩 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		教養特殊講義B
兼任	准教授	芳原 新也 (令和6年4月) 博士(工学)
		科学的問題解決法
兼任	教授	文能 麗之 (令和5年4月) 博士(国際公共政策)
		暮らしのなかの国際入門
兼任	准教授	河野 英二 (令和4年4月) 博士(文学)
		ドイツ語総合1 ドイツ語総合2
兼任	教授	黒沢 宏知 (令和5年4月) Dr. phil. (独)
		ドイツ語総合3 ドイツ語総合4
兼任	准教授	幸福 香織 (令和4年4月) 文学修士
		中国語総合1 中国語総合2

教員区分	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月> 保有学位等
担当授業科目名		
その他	講師	時本 昌樹 (令和6年4月) 修士(学術)
		生体スポーツ1 生体スポーツ2
その他	教授	平井 大輔 (令和4年4月) 博士(英語学)
		教養特殊講義B
その他	准教授	村中 洋介 (令和4年4月) 博士(法学)
		現代社会と法
その他	教授	渡辺 泰明 (令和5年4月) 博士(経営学)
		国際経済と企業の国際化
その他	准教授	森山 智浩 (令和4年4月) 博士(言語文化学)
		教養特殊講義B
その他	准教授	芳原 新也 (令和6年4月) 博士(工学)
		科学的問題解決法
その他	教授	文能 麗之 (令和5年4月) 博士(国際公共政策)
		暮らしのなかの国際入門
その他	准教授	河野 英二 (令和4年4月) 博士(文学)
		ドイツ語総合1 ドイツ語総合2
その他	教授	黒沢 宏知 (令和5年4月) Dr. phil. (独)
		ドイツ語総合3 ドイツ語総合4

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	村井 義洋 <令和4年4月> 薬学博士	基礎化学および演習
兼任	准教授	李 嘉永 <令和4年4月> 修士(法学)	科学技術の進歩と人権
兼任	講師	長田 進 <令和5年4月> Master of Education・Arts(米国)	心理と行動
兼任	講師	松下 聖 <令和4年4月> 修士(国際学)	国際社会と日本
兼任	講師	大村 雄司 <令和4年4月> 博士(理学)	基礎物理学および演習
兼任	講師	鈴木 晴 <令和4年4月> 博士(理学)	化学
兼任	講師	岡 研吾 <令和4年4月> 博士(理学)	化学
兼任	助教	池田 裕子 <令和4年4月> 博士(医学)	生物学
兼任	准教授	今野 大治郎 <令和4年4月> 博士(医学)	生物学
兼任	講師	重村 博典 <令和4年4月> 修士(法学)	暮らしのなかの理法
兼任	講師	中野 直高 <令和4年4月> 博士(工学)	基礎生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	村井 義洋 <令和4年4月> 薬学博士	基礎化学および演習
兼任	准教授	岡本 健 <令和4年4月> 博士(観光学)	〃スポーツ
兼任	准教授	李 嘉永 <令和4年4月> 修士(法学)	科学技術の進歩と人権
兼任	講師	長田 進 <令和5年4月> Master of Education・Arts(米国)	心理と行動
兼任	教授	丸山 佐和子 <令和4年4月> 博士(経済学)	国際社会と日本
兼任	准教授	鈴木 晴 <令和4年4月> 博士(理学)	化学
兼任	講師	岡 研吾 <令和4年4月> 博士(理学)	化学
兼任	准教授	今野 大治郎 <令和4年4月> 博士(医学)	生物学
兼任	講師	重村 博典 <令和4年4月> 修士(法学)	暮らしのなかの理法
兼任	講師	中野 直高 <令和4年4月> 博士(工学)	基礎生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	村井 義洋 <令和4年4月> 薬学博士	基礎化学および演習
兼任	准教授	岡本 健 <令和4年4月> 博士(観光学)	〃スポーツ
兼任	准教授	李 嘉永 <令和4年4月> 修士(法学)	科学技術の進歩と人権
兼任	教授	塩崎 麻里子 <令和5年4月> 博士(人間科学)	心理と行動
兼任	准教授	佐藤 肇 <令和5年4月> 博士(医学)	心理と行動
兼任	教授	丸山 佐和子 <令和4年4月> 博士(経済学)	国際社会と日本
兼任	准教授	鈴木 晴 <令和4年4月> 博士(理学)	化学
兼任	講師	野間 直樹 <令和5年4月> 博士(工学)	化学
兼任	准教授	今野 大治郎 <令和4年4月> 博士(医学)	生物学
兼任	講師	重村 博典 <令和4年4月> 修士(法学)	暮らしのなかの理法
兼任	講師	中野 直高 <令和4年4月> 博士(工学)	基礎生物学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
兼任	准教授	村井 義洋 <令和4年4月> 薬学博士	基礎化学および演習
兼任	教授	岡本 健 <令和4年4月> 博士(観光学)	〃スポーツ
兼任	准教授	李 嘉永 <令和4年4月> 修士(法学)	科学技術の進歩と人権
兼任	教授	塩崎 麻里子 <令和5年4月> 博士(人間科学)	心理と行動
兼任	准教授	佐藤 肇 <令和5年4月> 博士(医学)	心理と行動
兼任	教授	丸山 佐和子 <令和4年4月> 博士(経済学)	国際社会と日本
兼任	准教授	鈴木 晴 <令和4年4月> 博士(理学)	化学
兼任	講師	野間 直樹 <令和5年4月> 博士(工学)	化学
兼任	准教授	今野 大治郎 <令和4年4月> 博士(医学)	生物学
兼任	准教授	重村 博典 <令和4年4月> 修士(法学)	暮らしのなかの理法
兼任	講師	中野 直高 <令和4年4月> 博士(工学)	基礎生物学

教員区分	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	担当授業科目名
その他	講師	村井 義洋 <令和4年4月> 薬学博士	基礎化学および演習
その他	教授	岡本 健 <令和4年4月> 博士(観光学)	〃スポーツ
その他	准教授	李 嘉永 <令和4年4月> 修士(法学)	科学技術の進歩と人権
その他	教授	塩崎 麻里子 <令和5年4月> 博士(人間科学)	心理と行動
その他	准教授	佐藤 肇 <令和5年4月> 博士(医学)	心理と行動
その他	教授	丸山 佐和子 <令和4年4月> 博士(経済学)	国際社会と日本
その他	准教授	鈴木 晴 <令和4年4月> 博士(理学)	化学
その他	講師	野間 直樹 <令和5年4月> 博士(工学)	化学
その他	准教授	今野 大治郎 <令和4年4月> 博士(医学)	生物学
その他	准教授	重村 博典 <令和4年4月> 修士(法学)	暮らしのなかの理法
その他	講師	中野 直高 <令和4年4月> 博士(工学)	基礎生物学





【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> <保有学位等>	担当授業科目名
兼任 講師		Shawn White <令和4年4月> Master's of Education (カナダ)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4 IT英語1 IT英語2
兼任 講師		William White <令和4年4月> M. Ed. Educational Technology (米国)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		David Sandbrook <令和4年4月> Master of Applied Linguistics (豪州)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		Andrew Nadeau <令和4年4月> Master of Science in Education (米国)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		Shane Walsh <令和4年4月> M. Applied Linguistics (豪州)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> <保有学位等>	担当授業科目名
兼任 講師		Shawn White <令和4年4月> Master's of Education (カナダ)	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4 IT英語1 IT英語2
兼任 講師		White William <令和4年4月> M. Ed. Educational Technology (米国)	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		David Sandbrook <令和4年4月> Master of Applied Linguistics (豪州)	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		Andrew Nadeau <令和4年4月> Master of Science in Education (米国)	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		Shane Walsh <令和4年4月> M. Applied Linguistics (豪州)	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> <保有学位等>	担当授業科目名
兼任 講師		宮田 ひと美 <令和5年4月> 博士(言語文化学)	TOEIC1 TOEIC2
兼任 講師		Linton Kane Shannon <令和4年4月> Master of Linguistics (TEFL) (豪州)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		Matsuo Scott Takashi <令和4年4月> 修士(英語教授法)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2
兼任 講師		Masey Wib <令和4年4月> Master of Arts (TEAP) (英国)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		Thornton Matthew Aaron <令和4年4月> Master of Applied Linguistics (TESOL) (英国)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2
兼任 講師		Jolley Kym <令和4年4月> Master of Applied Linguistics (TESOL) (豪州)	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 <就任(予定)年月> <保有学位等>	担当授業科目名
兼任 講師		宮田 ひと美 <令和5年4月> 博士(言語文化学)	英語総合1 英語総合2 ライティング1 ライティング2
兼任 講師		空閑 洋繪 <令和6年4月> Master of Advanced Translation and Interpreting studies (豪州)	ライティング1 ライティング2 アカデミックライティング1 アカデミックライティング2
兼任 講師		池名 友 <令和6年4月> 修士(言語教育学)	TOEIC1 TOEIC2 ライティング1 ライティング2 アカデミックライティング1 アカデミックライティング2
兼任 講師		田丸 歩実 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)	TOEIC1 TOEIC2
兼任 講師		Matsuo Scott Takashi <令和4年4月> 修士(英語教授法)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2
兼任 講師		Masey Wib <令和4年4月> Master of Arts (TEAP) (英国)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4
兼任 講師		Jolley Kym <令和4年4月> Master of Applied Linguistics (TESOL) (豪州)	IT英語1 IT英語2

教員区分	職名	氏名 <就任(予定)年月> <保有学位等>	担当授業科目名
その他 講師		空閑 洋繪 <令和6年4月> Master of Advanced Translation and Interpreting studies (豪州)	ライティング1 ライティング2 アカデミックライティング1 アカデミックライティング2
その他 講師		池名 友 <令和6年4月> 修士(言語教育学)	TOEIC1 TOEIC2 ライティング1 ライティング2 アカデミックライティング1 アカデミックライティング2
その他 講師		田丸 歩実 <令和6年4月> 博士(人間・環境学)	TOEIC1 TOEIC2
その他 講師		Matsuo Scott Takashi <令和4年4月> 修士(英語教授法)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2
その他 講師		Masey Wib <令和4年4月> Master of Arts (TEAP) (英国)	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4

【認可時又は届出時】

【令和4年度】

【令和5年度】

【令和6年度】

【令和7年度】

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
		<b>Cakebread-Andrew Oliver Patriok</b> <令和4年4月> Master of Arts (Applied Linguistics) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2									
		<b>Wilkins Michael Robert</b> <令和5年4月> 修士(教育学英語教授法) (カナダ)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2			<b>Wilkins Michael Robert</b> <令和5年4月> 修士(教育学英語教授法) (カナダ)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2	その他	講師	<b>Wilkins Michael Robert</b> <令和5年4月> 修士(教育学英語教授法) (カナダ)
		<b>Frank Russell William</b> <令和5年4月> 修士(外国語教育学) (米国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2			<b>Frank Russell William</b> <令和5年4月> 修士(外国語教育学) (米国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4	その他	講師	<b>Frank Russell William</b> <令和5年4月> 修士(外国語教育学) (米国)
		<b>Samuel Christopher</b> <令和5年4月> 修士(英語教授法) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2									
		<b>Lees David Peter</b> <令和5年4月> 修士(TESEOL) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4			<b>Lees David Peter</b> <令和5年4月> 修士(TESEOL) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4	その他	講師	<b>Lees David Peter</b> <令和5年4月> 修士(TESEOL) (英国)
		<b>Gustavo Imogen Marguerite</b> <令和5年4月> Master of Science in Education (TESOL) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4			<b>Gustavo Imogen Marguerite</b> <令和5年4月> Master of Science in Education (TESOL) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4	その他	講師	<b>Gustavo Imogen Marguerite</b> <令和5年4月> Master of Science in Education (TESOL) (英国)
		<b>Benjamin Neil Smith</b> <令和5年4月> 修士(文学) (ベルギー)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2			<b>Benjamin Neil Smith</b> <令和5年4月> 修士(文学) (ベルギー)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2 オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4			
								<b>Bonham Matthew Howard</b> <令和5年4月> Master of Applied Linguistics (TESOL) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ1 オーラルイングリッシュ2	その他	講師	<b>Bonham Matthew Howard</b> <令和5年4月> Master of Applied Linguistics (TESOL) (英国)
								<b>Head, Philip Arthur Somerville</b> <令和5年4月> 修士(TESOL) (英国)	兼任	講師	オーラルイングリッシュ3 オーラルイングリッシュ4	その他	講師	<b>Head, Philip Arthur Somerville</b> <令和5年4月> 修士(TESOL) (英国)
												その他	講師	<b>Philpott Andrew Robert</b> <令和7年4月> 博士(応用言語学) (原籍)
兼任	講師	須摩 肇 <令和4年4月> 修士(文学)												
		ドイツ語総合1 ドイツ語総合2												
兼任	講師	宮本 香美 <令和5年4月> 修士(文学)	兼任	講師	ドイツ語総合3 ドイツ語総合4									
		ドイツ語総合3 ドイツ語総合4												
		<b>北野 文美</b> <令和4年4月> 修士(文学)	兼任	講師	フランス語総合1 フランス語総合2			<b>北野 文美</b> <令和4年4月> 修士(文学)	兼任	講師	フランス語総合1 フランス語総合2	その他	講師	<b>北野 文美</b> <令和4年4月> 修士(文学)
		フランス語総合1 フランス語総合2												
		<b>栗野 広福</b> <令和5年4月> フランス文学修士	兼任	講師	フランス語総合3 フランス語総合4			<b>栗野 広福</b> <令和5年4月> フランス文学修士	兼任	講師	フランス語総合3 フランス語総合4	その他	講師	<b>栗野 広福</b> <令和5年4月> フランス文学修士
		フランス語総合3 フランス語総合4												



【認可時又は届出時】		【令和4年度】		【令和5年度】		【令和6年度】		【令和7年度】	
専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名	教員区分	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等 担当授業科目名
		兼任	大田 武志 <令和4年4月> 理学博士 基礎物理学および教育	兼任	大田 武志 <令和4年4月> 理学博士 基礎物理学および教育	兼任	大田 武志 <令和4年4月> 理学博士 基礎物理学および教育	その他	大田 武志 <令和4年4月> 理学博士 基礎物理学および教育
兼任	佐々木 正大 <令和4年4月> 博士(保健学) 基礎生物学								
兼任	戸田 健太郎 <令和4年4月> 修士(理学) プログラミング基礎1 プログラミング基礎2								
								その他	川田 憲 <令和7年4月> 博士(工学) プログラミング基礎1 プログラミング基礎2
								その他	橋本 博文 <令和7年4月> 博士(工学) プログラミング基礎1
								その他	豊田 博俊 <令和7年4月> 修士(数学科教育) プログラミング基礎2

(注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。  
 ・認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)(その2の2)(その2の3)に準じて作成してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
 ・各欄の作成方法は「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」を参照してください。  
 ・「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(専任教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員を含む。))を黒字で記入してください。  
 その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字**としてください。  
 ・年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の歳年齢**を記入してください。  
 ・記載は、設置認可時又は届出時における「大学の設置等に係る届出書類作成の手引」の「教員名簿」に記載されている「教員区分」(改正後大学設置基準等の適用以前は「専任等区分」)の順に記入してください。  
 ・改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以降については、主要授業科目にあたる「担当授業科目名」に下線を引いてください。(大学院、高等専門学校は除く)  
 ・教員がサビカル等で不在の期間がある場合、その期間(年月日)を上段「学位」の下へ記入してください。  
 ・不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。  
 ・指定規則の改正により、新旧がキヤラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のキヤラム(新がキヤラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のキヤラム(旧がキヤラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和4年度】

- 昇任人事により、濱砂幸裕講師を准教授に変更
- 教育内容充実のため、以下の授業科目の担当者を変更
  - ・毛利公義教授に「プログラミング基礎1」の担当科目を追加変更
  - ・須藤秀祐教授に「プログラミング基礎2」の担当科目を追加変更
  - ・溝淵昭二准教授に「データサイエンス入門」の担当科目を追加
  - ・多田昌裕准教授に「プログラミング基礎2」の担当科目を追加
  - ・「海外語学研修(英語)」の担当者を中川浩講師に変更
  - ・吉原和明助教に「プログラミング基礎1」の担当科目を追加
  - ・「国際社会と日本」の担当者を星河武志准教授、丸山佐和子准教授に変更
  - ・「生涯スポーツ1」の担当者に田邊智准教授、岡田龍司准教授、橋本剛幸准教授、熊本和正准教授、光山秀行准教授、橋田惠兼任講師、山内章裕兼任講師、寺田進志兼任講師、村上雅俊兼任講師、加藤大門兼任講師、町田貴幸兼任講師を追加変更
  - ・「生涯スポーツ2」の担当者に田邊智准教授、岡田龍司准教授、橋本剛幸准教授、橋田惠兼任講師、山内章裕兼任講師、寺田進志兼任講師、村上雅俊兼任講師、栗山晶代兼任講師、三村覚兼任講師を追加変更
  - ・「現代社会と法」の担当者を村中洋介准教授に変更
  - ・「中国語総合1」「中国語総合2」の担当者に飯塚君穂兼准教授、鄭洲兼任講師を追加変更
  - ・「eスポーツ」の担当者を岡本健兼准教授に変更
  - ・「生物学」の担当者を今野大治郎兼准教授に変更
  - ・「暮らしのなかの憲法」の担当者を重村博兼准教授に変更
  - ・「基礎生物学」の担当者を中澤道高兼准教授に変更
  - ・「日本語の技法」の担当者を寺西裕一兼任講師に変更
  - ・「英語総合1」「英語総合2」の担当者に澤村実希兼任講師、星野芳恵兼任講師、山下千里兼任講師、三井武人兼任講師、寺内麻紀兼任講師を追加変更
  - ・「オーラルイングリッシュ1」「オーラルイングリッシュ2」の担当者にLinton Kane Shannon兼任講師、マツオ スコット タカシ兼任講師、Massey Wib兼任講師、Thornton Matthew Aaron兼任講師、Jolley Kym兼任講師、Cokebread-Andrews Oliver Patrick兼任講師を追加変更
  - ・「フランス語総合1」「フランス語総合2」の担当者を北野文英兼任講師に変更
  - ・「韓国語総合1」「韓国語総合2」の担当者に任載玩兼任講師を追加
  - ・「基礎物理学および演習」の担当者を大田武志兼任講師に変更

【令和5年度】

- 三原京教授が新たな学位を取得
- 白浜公章准教授の退職により、担当科目を専任教員での分担および白浜公章兼任講師へ変更。(教員採用予定)
- 昇任人事により、水谷后宏講師を准教授に変更
- 教育内容充実のため、以下の授業科目の担当者を変更
  - ・「環境と社会」の担当者に水野謙典講師を追加変更
  - ・「教養特殊講義A」の担当者を安藤尚一兼任教授へ変更
  - ・「教養特殊講義C」の担当者を山縣正幸兼教授、富田義弘兼教授へ変更
  - ・「生涯スポーツ1」「生涯スポーツ2」の担当者を田中ゆふ兼准教授に変更
  - ・「国際経済と企業の国際化」の担当者を渡辺泰明兼教授へ変更
  - ・「ドイツ語総合3」「ドイツ語総合4」の担当者を黒沢宏知兼教授へ変更
  - ・「心理と行動」の担当者を塩崎麻里子兼任教授、佐藤望兼教授へ変更
  - ・「化学」の担当者を野間直樹兼任講師へ変更
  - ・「ライティング1」「ライティング2」の担当者に中川浩講師、澤村実希兼任講師、三井武人兼任講師、瀧本哲弘兼任講師、杉田磨理子兼任講師を追加変更
  - ・「TOEIC1」「TOEIC2」の担当者に澤村実希兼任講師、星野芳恵兼任講師、山下千里兼任講師、三井武人兼任講師、吉田ひと美兼任講師を追加変更
  - ・「英語総合1」「英語総合2」の担当者に植田弘子兼任講師、瀧本哲弘兼任講師、杉田磨理子兼任講師を追加変更
  - ・Linton Kane Shannon兼任講師、Massey Wib兼任講師、Jolley Kym兼任講師の担当科目に「オーラルイングリッシュ3」「オーラルイングリッシュ4」を追加変更
  - ・「オーラルイングリッシュ1」「オーラルイングリッシュ2」の担当者にWilkins Micheal Robert兼任講師、Fronk Russell William兼任講師、Samuel Christopher兼任講師を追加変更
  - ・「フランス語総合3」「フランス語総合4」の担当者を栗野広雅兼任講師を追加変更
  - ・「中国語総合1」「中国語総合2」の担当者を佐原陽子兼任講師へ変更
  - ・「中国語総合3」「中国語総合4」の担当者を福岸美聡兼任講師へ変更
  - ・「韓国語総合3」「韓国語総合4」の担当者を河原杉兼任講師へ変更
- 全学的な取組みとして、全学共通科目に「暮らしのなかの起業入門」を追加し、文能照之兼教授が担当

【令和6年度】

- 全学的な取組みとして、「基礎ゼミ1」「基礎ゼミ2」を「近大ゼミ」「情報学入門ゼミナール」に科目名称を変更
- 昇任人事により、波部斉准教授と谷口義明准教授を教授、山元翔講師を准教授に変更
- 教育内容充実のため、以下の授業科目の担当者を変更
  - ・半田久志教授に「深層強化学習」の担当科目を追加変更
  - ・三原京教授に「アカデミックイングリッシュ1」「アカデミックイングリッシュ2」の担当科目を追加
  - ・窪崎隆志准教授に「モデル最適化基礎」の担当科目を追加変更
  - ・濱砂幸裕准教授に「実践機械学習」の担当科目を追加変更
  - ・吉原和明助教に「情報処理実習2」の担当科目を追加変更
  - ・「教養特殊講義A」の担当者を萬谷和歌子兼准教授に変更
  - ・「生涯スポーツ1」の担当者に大島兼准教授、栗山晶代兼任講師、三村覚兼任講師、谷所慶兼任講師、禿慧二兼任講師、西口治佳兼任講師、時本昌樹兼任講師、牧野晃宗兼任講師を追加変更
  - ・「生涯スポーツ2」の担当者に光山秀行兼講師、時本昌樹兼講師、加藤大門兼任講師、町田貴幸兼任講師、栗山晶代兼任講師、三村覚兼任講師、谷所慶兼任講師、禿慧二兼任講師、牧野晃宗兼任講師を追加変更
  - ・「アカデミックイングリッシュ1」「アカデミックイングリッシュ2」の担当者に山下千里兼任講師、空閑洋始兼任講師、池名友兼講師を追加変更
  - ・「英語総合1」「英語総合2」の担当者に吉田ひと美兼任講師を追加変更
  - ・「ライティング1」「ライティング2」の担当者に吉田ひと美兼任講師、空閑洋始兼任講師、池名友兼講師を追加変更
  - ・「TOEIC1」「TOEIC2」の担当者に池名友兼講師、田丸歩実兼任講師を追加変更
  - ・「IT英語1」「IT英語2」の担当者にJolley Kym兼任講師を追加変更
  - ・「オーラルイングリッシュ1」「オーラルイングリッシュ2」の担当者にBanham Matthew Howard兼任講師を追加変更
  - ・「オーラルイングリッシュ3」「オーラルイングリッシュ4」の担当者にFronk Russell William兼任講師、Benjamin Neil Smith兼任講師、Head, Philip Arthur Somerville兼任講師を追加変更
  - ・「ドイツ語総合1」「ドイツ語総合2」の担当者に牧野千尋兼任講師を追加変更
  - ・「中国語総合1」「中国語総合2」の担当者に陳海漢兼任講師、張敏政兼任講師を追加変更
  - ・「韓国語総合1」「韓国語総合2」の担当者に崔興善兼任講師、李光輝兼任講師を追加変更

【令和7年度】

- 昇任人事により、阿部孝司准教授を教授、中川浩講師を准教授、吉原和明助教を講師に変更
- 教育内容充実のため、以下の授業科目の担当者を変更
  - ・谷口義明教授、水谷后宏教授、吉原和明講師に「ネットワーク技術」の担当科目を追加変更
  - ・その他の教員が定年退職により、「ブロックチェーン」「基礎化学および演習」の担当者職名を講師へ変更
  - ・「教養特殊講義A」の担当者を廣田章光講師に変更
  - ・その他の田中ひかる教授の担当科目を「生涯スポーツ2」に変更
  - ・その他の熊本和正准教授の担当科目に「生涯スポーツ2」を追加
  - ・「英語総合1」「英語総合2」「ライティング1」「ライティング2」の担当者にその他の澤村実希講師を追加
  - ・「IT英語1」「IT英語2」の担当者にその他のFronk Russell William講師を追加
  - ・その他のBanham Matthew Howard講師の担当科目に「オーラルイングリッシュ3」を追加
  - ・「オーラルイングリッシュ1」「オーラルイングリッシュ2」の担当者にその他のPhilpott Andrew Robert講師を追加
  - ・「プログラミング基礎1」「プログラミング基礎2」の担当者にその他の川田恵講師を追加
  - ・「プログラミング実習1」の担当者にその他の橋本博文講師を追加
  - ・「プログラミング実習2」の担当者にその他の豊田博俊講師を追加

(注) 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし」と記入してください。

● **認可で設置された学部等の基幹(専任)教員を変更する場合は**、当該基幹(専任)教員が授業を開始する前に必ず「基幹(専任)教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(A C教員審査)を受けてください。

**原則としてA C教員審査を受けずに基幹(専任)教員として授業等を担当することは出来ません。**

なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、A C教員審査を受審する必要はない扱いとしています。(改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、A C教員審査の受審を求めた事由が発生する場合は、A C教員審査を受審する必要があります。)

● A C教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。

● なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。

● 不要な年度(令和6年度開設であれば令和5年度以前)の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注) 計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織（学科連係課程実施学科）の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項（短期大学設置基準第三条の二）に基づき「連係協力学部等（連係協力学科）」の基幹教員数について、「(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2)-② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等（連係協力学科）ごとに別ファイルで作成してください。

(2)-① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における設置基準上の必要基幹教員数（α）	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	うち、完成年度時における設置基準上の専ら当該学部等の教員研究に従事する必要基幹教員数（α）の4分の3以上
21	11	16
名	名	名

(注) 大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。  
 ・高等専門学校の場合、うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2)-② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在（報告時）の状況						
教授	准教授	講師	助教	計（A）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（A'）	助手（A''）	教授	准教授	講師	助教	計（B）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（B'）	助手（B''）
12	14	9	1	36	36	0	15	14	6	0	35	35	0
(12)	(14)	(9)	(1)	(36)	(36)	(0)							
現在（報告時）の完成年度時の状況							現在（報告時）の完成年度時の計画						
教授	准教授	講師	助教	計（C）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（C'）	助手（C''）	教授	准教授	講師	助教	計（D）	うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計（D'）	助手（D''）
15	14	6	0	35	35	0	15	15	6	0	36	36	0
[3]	[0]	[Δ3]	[Δ1]	[Δ1]	[Δ1]	[0]	[3]	[1]	[Δ3]	[Δ1]	[0]	[0]	[0]

(注) 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者（「基一」及び「基専」の計）」として記入してください。  
 なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準（令和4年10月1日施行前）に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画（改正前大学設置基準等）」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。  
 また、「計（A）」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者（「基（主専）」及び「基（専）」の計）」欄には「-」を記入してください。  
 ・「現在（報告時）」の状況には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）  
 ・「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告時（上記（B））の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記（C））の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
66	1	1
歳	名	名

(注) 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二桁書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】  
 現在（報告時）の完成年度時の状況（C） =  $\frac{35}{36} = 97.22$  %  
 設置時の計画（A）

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】  
 現在（報告時）の完成年度時の状況（C'） =  $\frac{35}{36} = 97.22$  %  
 設置時の計画（A'）

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 =  $\frac{1}{35} = 2.85$  %  
 現在（報告時）の状況（B）

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在（報告時）の完成年度時の状況（C''） =  $\frac{0}{0} = -$  %  
 設置時の計画（A''）

(注) ・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹（専任）教員辞任等の理由

(3) - ① 基幹（専任）教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由
		該当なし					
合計 (D)					後任補充状況の集計 (E)		
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

(注) ・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹（専任）教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

- ・「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 基幹（専任）教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由
1	准教授	白浜 公章	R5.3	必修	基礎ゼミ 1	①	R5.3.31付け一身上の都合のため辞任 (5)
				必修	基礎ゼミ 2	①	
				選択	情報処理実習 2	①	
				選択	実践機械学習	①	
				選択	モデル最適化基礎	①	
				選択	高度系コンピューティングプロジェクト 1	①	
				選択	深層強化学習	①	
				必修	情報学基礎ゼミナール 1	①	
				必修	情報学基礎ゼミナール 2	①	
				必修	情報学応用ゼミナール 1	①	
				必修	情報学応用ゼミナール 2	①	
				選択	社会情報学実習 1	①	
				選択	社会情報学実習 2	①	
				選択	社会情報学実習 3	①	
選択	社会情報学実習 4	①					
必修	卒業研究	①					
合計 (F)					後任補充状況の集計 (G)		
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	9	科目	選択	9	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目

(注) ・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。

- （学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。）
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までには基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
- ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
- ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)		後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	7	科目	必修	7	科目
		選択	9	科目	選択	9	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	16	科目	計	16	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③合計(D)+(F)}{(2) - ②設置時の計画(A)} = \frac{1}{36} = 2.77\%$$

(注) ・小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和6年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

0 人

(注)・(3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。  
 ・令和7年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番号	職位	基幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由							
		該当なし											
合計					後任補充状況の集計								
辞任した教員数					①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)				
0	人	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・**定年により退職した全ての基幹（専任）教員**について、記入してください。  
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」  
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職教員が担当していた授業科目については、学部内の専任教員による科目担当や非常勤講師による科目担当を充てることができたため、急な退職ではあったが対応することができた。後任となる専任教員の採用人事を進めており、教育研究活動に支障が生じないよう配慮している。なお、学生にはシラバスや時間割表等を通じて丁寧に周知を行った。

(注)・上記(3)の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

## 6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今 後 の 実 施 計 画
届出時 (令和3年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和4年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和6年度)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がある場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

**【令和6年度報告書から記載内容に変更がない場合】**

令和6年度報告書の記載内容を転記し文末に「（6）（7）」と記載してください。

**【令和7年度から新たに調査対象となった学科等又は令和6年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】**

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（7）」と記載してください。

- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。  
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <情報学部>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
特記事項なし	

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>◇ IR・教育支援センター運営委員会（旧：教育改革推進センター運営委員会）を設置</p> <p>委員会構成：センター長、IR部門長、教学企画部門長、教育支援部門長、タスクフォースリーダー、その他センター長が必要と認めた者</p> <p>※FD活動に関しては、各学部においてもFD委員会等を設置して教育力の向上に取り組んでいる。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>◇ IR・教育支援センター運営委員会：12回（令和5年度開催状況）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>(1) 学生の学修動向、教育の成果等に関する調査の実施及び分析に関する事項</p> <p>(2) 学内外の情報に関する収集、分析及び報告並びに各所属が行う情報分析等の支援に関する事項</p> <p>(3) 教育改革の具体的施策の企画及び教育方法の開発に関する事項</p> <p>(4) 教育の質向上及び学生の能力向上に関する事項</p> <p>(5) その他本学の教学IR活動並びに教育改革及び教育支援の推進に関する事項</p> <p>(※) IR・教育支援センターは本学の建学の精神と教育の目的に基づく教育改革を推進し、IR部門、教学企画部門、教育支援部門の3部門を設置して大学改革を進めている</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>1. 新任教員研修会の開催</p> <p>2. 全学FD・SD研究集会の開催</p> <p>3. アンケート実施、公表の推進</p> <p>4. シラバス記載内容の改善とガイドラインの作成</p> <p>b 実施方法</p> <p>1. 新任教員研修会の開催</p> <p>大学の概要に関する講義、教育改革の取り組みに関する講義、教育の質の向上に資するワークショップ</p> <p>2. 全学FD・SD研究集会の開催</p> <p>外部講師による教育改革の事例紹介や、学修成果の可視化に関する講演</p>
---

3. アンケート実施、公表の推進  
アンケートの集計、結果の公表、フィードバック  
(授業評価アンケート) リフレクションペーパーの作成
4. シラバス記載内容の改善とガイドラインの作成  
記載上の留意事項の作成・配布、点検・監査報告の義務化

c 開催状況 (教員の参加状況含む)

1. 新任教員研修会の開催 (年2回)

◇4月

本学の概要や取組を中心に入試制度から就職状況、教育方針等の研修を実施した。

◇8月

研修会の実施だけでなく、授業方法の改善を目的とした『ピア・レビュー』も実施した。

2. 全学FD・SD研究集会の開催 (年3回)

◇アントレプレナー教育の必要性について

◇授業時間外学修

◇3つのポリシーの達成度評価とその活用について

3. アンケート実施、分析、公表の推進

◇授業評価アンケート (年2回) および卒業アンケート

◇教育活動の成果と改善のため、原則全学部・全科目を対象に実施。結果を学内にフィードバックし、学外にも公表

※授業評価アンケートについては教員ヘリフレクションペーパーの作成を依頼し、次年度の授業改善を意識づける取り組みを行っている。

4. シラバス記載内容の改善とガイドラインの作成

記載内容の充実と質保証を目的とし、作成上の留意事項を詳細に記載した資料を作成し、全教員に配布している。

またその内容に即したシラバスであることを確認するため、各学部・研究科にて点検・監査を実施し、次年度開始前を期限として学部長・研究科長等より監査報告書の提出を義務付けている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

いずれの取り組みも大学の授業改善サイクルの一環として位置づけ、特に教育成果を把握するための「アンケート結果」と、学修内容の明確化と質の維持向上を目的とした「シラバス作成と点検監査」を組織的に取り組むことにより、授業改善サイクルを循環させている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

中間アンケートの実施 (後期の7~8回目に実施し、授業改善へ活用)

前期および後期の最終授業回に実施 (年2回)

b 教員や学生への公開状況、方法等

◇アンケートの集計結果を各学部ホームページ上で公開

◇学部ごとにリフレクションペーパーを作成し、学部学生センターおよび中央図書館等で閲覧できる体制をとっている。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

#### (4) 自己点検・評価等に関する事項

##### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本年度は完成年度であり、順調に設置計画を履行していると考えている。  
積極的な広報活動を行い、本学部の設置の趣旨・目的が広く認知・理解された結果、  
入学定員330名に対して10,985名の志願があり、392名の新入生を迎えることができた。  
新入生には、設置の趣旨・目的を実現するため、予定していたカリキュラムでの教育を進めている。

##### ② 自己点検・評価報告書

###### a 公表（予定）時期

・令和8年6月1日 公表予定

###### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

##### ③ 認証評価を受ける計画

(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)

- ・平成19年度に財団法人大学基準協会にて受審し、平成20年3月に「適合」と認定
- ・平成26年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、平成27年3月に「適合」と認定
- ・令和3年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審し、令和4年3月に「適合」と認定
- ・令和10年度に公益財団法人大学基準協会の大学評価（認証評価）を受審予定

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

#### (5) 情報公表に関する事項

##### ○ 設置計画履行状況報告書（令和7年度）

a 公表予定の有無 [  有 ・  無 ]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [  調査結果公表後1ヶ月以内 ・  公表後2～3ヶ月以内 ・  公表後3ヶ月以降 ]

c 公表方法 [  ウェブサイトへの掲載 ・  その他 ( ) ]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 [ ( ) ]

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。